

ダビデの子よ、憐れみを下さい

ロングビーチ カリフォルニア州 アメリカ合衆国
1961年02月15日

1 祈りのために少しの間立ったままにしましょう。今夜、神の前で何人を覚えておきたいですか？

私たちの天の父よ、あなたが祈りに答えてくださることをとてもうれしく思います。何年も経って、46年と47年にさかのぼる人々に会ったことをとてもうれしく思いました。彼らが癌で死にかけているとき、身体が不自由で、車椅子で、目の見えない人が見えなかったとき、まだ癒されていませんでした。そして、ここで彼らは私の手を振って言っています、「ブラナム兄弟、私は不自由でした。私は盲目でした。私は癌に諦め、それ以来病気の日はありませんでした。」主よ、私たちはそれが彼らへのあなたの恵みにすぎないことを知っています。私たちはこれにとても満足しています、そして今日苦しんでいる他の人たちがあなたが昨日、今日、そして永遠に同じであることを覚えてくれるように、神様に祈ります。

今夜、私たちが書かれたみことばの周りで交わりながら、神の栄光が私たちの真ん中に来るように、あなたが私たちを祝福してくださることを祈ります。昨夜の集会の結果、聖霊を受けて救われたという結果を聞いてとてもうれしく思います。主よ、これらのことをあなたに感謝します。私たちは今、私たちがあなたを待っている間、あなたが礼拝のさらなる部分で私たちを祝福してくれることを祈ります。イエスの御名によって私たちはそれを求めます。アーメン。

2 このような素敵な聴衆に話してもらうことはとても光栄なことであり、このようなことが起こったときにあなたが神を信じるのがとても簡単になります。さて、私は数晩説教をしてきました、そして...ただの福音です、なぜなら人が癒されたらと思うからです...彼らが非常に長生きすると、おそらく再び病気になるでしょう。しかし、あなたが救われれば、それは永遠です。あなたには永遠の命があります。そして、夕方の明かりが遅くなりすぎて、何よりも一つの素晴らしいことが必要だと感じています。それが救いです。

そして、神の癒しは単に.....ボスワース兄弟が言っていたように、神の癒しはあなたがフックにかける餌です。魚はフックを見ていません。彼は餌を取り、フックを取得します。だから、それはそうです。人々は超自然的な、超自然的な現象、神が病人を癒しているのを見ます。そして、彼らはそれに手を伸ばし、あなたが最初に知ったのは、彼らが信じる信仰を持って主イエスの腕の中にいるということです。そして、彼らはクリスチャンになり、永遠の命を持ちます。

現在、私たちの主のミニストリーの大部分、つまりその約80%以上がそうであったと思いますが、主のミニストリーの約80%が神の癒しであったと推定されています。それで、彼は群衆の目を引くために、そしてまた彼が彼らの救世主であることを示すためにそれをしました。彼は彼らに救世主であることを示すために救世主のしるしを示しました。

さて、昨夜、アーガンブライト兄弟が聴衆に、説教の礼拝を続けたいと思っている人の数、またはただ癒しの礼拝を続けたいと思っている人の数について尋ねたと思います。そして、私は、ああ、癒しのサービスのためにそれらのほんのわずかな割合について考えています。しかし、私たちが神に心を開くならば、神はいつでもそれをするでしょう、見てください。私たちはそれをそのように見えています。

3 今夜は少し疲れしました。私は1日に1~3回の礼拝を提供しています。だから私がここに着く時、私はかなり疲れ果てて始めようとしています。それで、私は今日の午後、古のピスガ教会、またはピスガホーム(どちらで呼ばれていても)にいました。そして、私たちは素晴らしい時間を過ごしたと言います。アズサストリート古いタイマーのいくつかはまだその教会にあり、...古いアズサストリートを崇拝しているを見つけました。

私は彼らがそこに座っている老婦人と老人を見ました。腕を回して抱きしめたかっただけです。彼らはとても甘く見えます。私は本当の幼い子供、または年配の人、あなたが知っていると思います...彼らは二度目に無力のようです、そして私は本当に...私は若い人と一緒になって右側で彼らをかき混ぜるのが好きです道路;それからその老人のところに行き、彼が何本の溝を横切ったか、そして彼がどのようにそれらを横切ったかを調べます。それから私はそこに着いたら、それらを越える方法を知るでしょう。だから、私は老いも若きも、そしてその中間も好きです。

私はみんなが好きです。私はそれを心から言うことができます。今夜私が敵を持っていることを知っていたら...私は持っているかもしれません。私はおそらく持っています。しかし、私がそうするならば、私はそれが誰であるかだけを知りません。もしそうなら、私が最初に行ってそれを正しくするまで、私は確かに説教に行きませんでした、私がそれをまっすぐにすることができるかどうか見てください。または、私たちにできる

ことがあれば、誰も私たちに反対しないようにしてください。そして今なら...それは「あなたが兄弟に反対するべきだったなら」とは言わない。しかし、「もし兄弟があなたに敵対するべきだったら」あなたは彼のところに行きますね。「もし彼が「すべき」を持っているなら。」そしてそのように、まあ、私たちは平和に生きています。

4 このゴード兄弟、貴重な少年...時々誰かが「あなたの礼拝の成功は何ですか、ブランナム兄弟?」と言います。もちろん、それはキリストです。「どうやってそんなに持ちこたえて、毎晩続けますか?」私の男の子、私と一緒にいる人々。

ここにこの少年は、時々何日も食べずに、顔を横にして、私のために神に助けを求めて泣きます。今、神はそれを断ることはできません、ほら。

家にいる妻、子供たち、愛する人たち。人々、私の友人たち、早く祈ってください。成功があります。ほら、私たち一人一人が...私たち全員が説教することはできませんし、私たちの何人かは一つのこと、別のことをすることができません。しかし、私たちは皆何かをすることができ、それは助けになります。

このこの時計のように。それは時間を告げる手があります。今、私はその小さなものが何時だったかを伝えるためにそこを行ったり来たりする回数がわかりません。手が教えてくれます。しかし、その小さな車輪がそのように前後にジャンプしていなかったとしたら、ここで時間を作ることはできませんでした。どこにあるのかわかりません。その小さなものを巻き上げるための曲がりくねったばねがなかったら、なぜ、それは前後にジャンプしなかったでしょう、見てください。したがって、すべてが連携して機能する必要があります。すべての教会は祈らなければなりません、そしてすべての信徒は祈らなければなりません、執事と評議員と牧師。それから私たちは一緒になって、一つの大きなユニットとして、そのような神の臨在に入るのです。

5 ほら、今、例えば、ピアノが音を出すとしましょう。どうすればわかりますか?音が鳴ることをどうやって知ることができますか?まあ、そうなると思います。それが私の信仰です。さて、あなたはそのピアノで音を出すために何をしますか?私の指はそれに触れなければならないでしょう。大丈夫です。さて、まず最初に、私の頭、私の心はそれについて考えなければなりません。私の心はそれがそうなるかどうかを私に言わなければなりません。それは信仰によるものです。さて、私の指、それは素晴らしいことだと言ってください。私の目、それは予言的な側面、見ることです。さて、今、私が座ってそのピアノを見ただけでは、「まあ、それは演奏されます」と言っても、それではうまくいきません。さて、ほら、私は作らなければならない...

私の足は動かなければなりません。さて、私の足が「まあ、私は目ではないので、それについて何もするつもりはない」と言ったらどうなるでしょうか?さて、私の足は「私はあなたをそこに連れて行きます」と言います。よし、どうぞ。私の足が私を乗っ取っています。さて、今、私はここにいます。まあ、私の目はまだ見えています、キーに触れることはできません。ほら、[不明瞭な言葉]キーに触れるだけですが、指がかかりますね。そして、鼻が「私はします」と言うなら、それは助けにはならないでしょう。「私はそれを打とうとします」と目が言うのは助けにはなりませんね。それは私の指を持っている必要があります。だから、すべてが一緒に働いている[ブランナム兄弟がピアノでノートを演奏する]、私はそれを持っています、見てください。それだけなのです。

6 さて、信仰とは何でしょうか?人体にはいくつの感覚がありますか?75つ。視覚、味覚、感覚、臭覚、聴覚。そうですか?さて、今、信仰は期待されるものの本質であり、あなたの視覚、味覚、感覚、臭覚、聴覚の証拠です。そうですか?それは第六感です。もし私がもう一週間あれば、私はそれらのことのいくつか、つまり第六感について、あるいはむしろ癒しの礼拝で説教するでしょう。さて、それはただ...私はできました...

ここに来て、ボーダーズ兄弟。さて、お見せしましょう。人々が「見ることは信じている」と言うのを聞いたことがありますか?何人がそれを聞いたことがありますか?ああ、あなたはそれを聞いたことがあります、「私はミズーリから来ました。ご存知のように、あなたは私に見せなければなりません。」そして今、私の前に男が立っています。彼は茶色の髪をしていて、茶色っぽいスーツを着て、白いシャツを着た茶色のネクタイをしています。何人がそれを信じていますか?を参照してください。さて、今私は彼をそこで宣言する一つの感覚を持っています。それが私の光景です。

さて、少し後退します。大丈夫です。今、私の視覚では彼がそこにいると言うことは不可能ですが、私は彼が今そこにいることを知っています。私が彼を見ていることも知っています。なぜですか?彼が見えない。あなたは彼がそこにいると私と議論したいですか?

7 今、あなたは「あなたはバンテン兄弟を起こしたかもしれない」と言います。ああ、いや、いや、いや、いや。それはバンテン兄弟ではありません。ロイ・ボーダース兄弟です。

「どうやってそれがわかるの？ あなたはただある男の手を握っただけです。」

あなたは私に人々を切り替えていません。彼は本当に広い結婚式のバンドをつけています、見てください、そして私はそれが彼であることを知っています。だから私はそれが…であることを知っています。今、私は彼を見ることができませんが、それでも私が彼を見ているのと同じように彼がそこにいることを知っています。それで、見ることは信じていませんね？ いいえ、いいえ、ええと、今回は違います。確かにそうではありません、なぜなら感情は信じることなのです。そうですか？

さて、今。さて、(ありがとう)信仰とは何ですか？ 信仰とは、希望しているものの本質であり、あなたが見えない、味わう、感じる、においを感じる、または聞く、見ることができないものの直接的な証拠です。それだけです。

あなたは「あの教会は白い」と言います。

さて、「あの教会は赤い」と言ったらどうなるでしょうか。

「ちょっと待ってください、ブラナム兄弟、あの教会は真っ白です」と言うでしょう。

ええと、「いいえ、赤いです」と言います。さて、今、それがあり得る唯一の方法...それが赤である可能性がありますか？ はい。あなたが色盲だったなら、それは赤いかもしれません、見てください。ですから、見ることはまだ信じていないでしょう、見てください。

8 しかし、あなたの信仰...信仰が前向きであるとき、あなたはあまり前向きになることはできません。あなたが...裁判に座っているかのように、裁判で。それからあなたは窓を通して見て事故を見ました、あなたが視覚的な幻想を持っていたかもしれないので彼らがあなたの証拠をとるのは難しいです。あなたはそれをそのように見たことがありませんね。そして時々あなたは自分が前向きであると思うことがあります。

道を下りて蜃気楼を見たことがありますか？ まるで水のように見えます。私はしばらく前にここの新聞を読みました、そこではたくさんのアヒルがそれが水であると思いましたが一彼らの目を通してそれを見たに違いありません—そして道路のすぐ上で火をつけました。それは蜃気楼だったので、彼ら全員を殺しました。

多くの場合、人間は蜃気楼を見て、「ああ、これはそれだけだ」と思います。自分自身を殺してしまうのです、見てください。彼らが砂漠で彼らを探しているとき...そこにいるのを見てください。彼らは水から出て、食堂はなくなり、水がありません。そして、彼らは蜃気楼を見始め、それが水だと思い、走って落ちて、彼らに水を投げ始めます。そして、それは何ですか？ 熱い砂を山積み。

そして、それは悪魔が時々する方法です。彼はあなたに偽の蜃気楼を見せます。そして、あなたはそれが何か素晴らしいことだと思えます、しかしあなたがそこに着くとき、あなたは自分自身がただ熱い砂を積み上げてあなたにますます罪を犯していることに気づきます。悪魔の蜃気楼を追いかけないでください。あなたの信仰を神の言葉にしっかりと定着させましょう。そのように、それを正しく維持してください。それは引き出さなければなりませんね。

9 その第六感とは他の五感に逆らうでしょう。彼らが第六感に同意する限り、五感は大丈夫です。しかし、五感が彼を導くために、男性は五感によって生きるように与えられていませんでした。彼は第六感に導かれるためにここで生まれ、与えられた傾向がありました。それが神が彼に第六感を与えた理由です。それが私たちが導く心の中の神の場所です。ですから、私たちがそれを許すならば、私たちは第六感によって導かれます。

さて、もし第六感がみことばが間違っていると言っているなら、あなたは第六感ではありません、見てください。それが五感です。しかし、第六感とは五感が宣言していないことを信じます。それはちょっと複雑ですが、それは本当です、第六感が私たちが導かれているものであるということです。

10 私はほんの少し前にそこにいました。祈られるのを待って4日間そこに横たわっている親愛なる老婆のために祈りました。そんなこと。私はあなたに言います、神の御霊がそのように動くのを見るために、私はそれをどうにかして癒しの礼拝に変えなければならぬような気がします。そして、そのかわいそうな古いもの...私は彼女を手で捕まえました、そして私は何が悪いのかを見ました。さて....

11 あなたは今何を読みましたか？ ルカ、ええ。大丈夫です。さて、私はそれからテキストを取り出したいと思います、御心であれば、明日の夜、私は約束しました…。私は神の封印について説教したいと思います。あなたは皆、そのようなレッスンを教えるのが好きですか？ 神の印章、そして次の夜の獣の印。そして今夜、私は主題のためにこれからテキストを取り出したいと思います、彼がここで読んだところから、ルカによる福音書第18章。そして彼は35節から43節までを含めて読みました。さて、私は38節をテキストとして取り上げたいと思います。「…ダビデの子よ、私を憐れんでください。」

今夜はもっと小さなドラマのように見ていきましょう。喉が少し疲れたので、ちょっとドラマをしてみましよう。

12 私たちのシーンは寒い春の朝に始まります、そしてそれは壁、エリコの古い取り壊された壁です。そして、盲目のバルティマエイ、またはバルティマエイと呼ばれる乞食であることがわかっている男がそこに座っています。それはどちらかで、大丈夫と発音されます。そしてその日、多くの物乞いがいました。

そして一晩中、彼は投げて転がしていました。彼は眠れなかった。私たちの多くは、彼らがどのような夜であるかを知っています。休むことはまったくありません。そして、彼はベッドの片側から反対側に転がり、かわいそうな老人のために休むことはありませんでした。そして、彼は遅く起きたので、彼は遅く彼のポストに来るでしょう。したがって、彼らが早くそこにいなければ、商人などがやってくる…。

物乞いや人々は非常にたくさんいます。失明や癩癩などの不治の病、不自由(など)、そして貧困に苦しんでいる人々です。そして、彼らが出会った最初の乞食について、彼らは彼にコインを与えました、そしてそれはちょうどそれを解決しました。それは彼らとその日に余裕があるすべてです。

それで彼は遅く彼の場所に来るでしょう。朝の8時頃だとしましょう。彼は6時くらいにそこにいたはずですが。しかし、彼が遅れた理由は、彼があまりにも多くの睡眠を逃したためでした。一晩中、彼は転がり、投げ、眠ることができませんでした。そして、彼は一晩中、再び見ることができると夢見ていました。彼は視力があることを夢見ていた。そして彼は目を覚まし、眠りに戻りました。

あなたは私が神が夢の中で何度も私たちに警告すると信じていることを知っています。そう思いませんか？ 彼はいつも持っています、そして彼は最後の日に彼が幻を示しそして彼らに夢を夢見るようにすることを約束しました。そしてバルティマイについて考えてみましょう。彼は自分の視力を受け取り、再び見ることができると夢見ていました。

13 それで、彼がその朝そこに着いたとき、彼は遅れました、そして、すべての商人は都市に行きました—それがそうであったように偉大な商業の都市。彼ら全員が入って、彼らの商品を売るために市場の場所に早く着きました、等々。だからおそらく彼はその日なしでやらなければならないでしょう。彼はその日食べるためのコインを持っていなかったでしょう。

そして、私たちが何度も彼を描いたように、私は想像することができます。そのような彼の古くてぼろぼろのマント、彼の小さな古いしわが寄った腕、そして彼の顔全体のひげ、そしてその灰色。道に沿って盲目で、彼が座って物乞いをする場所にたどり着こうとしました。それぞれが物乞いをするためのプライベートな場所を持っていました。

それは哀れなことです。私はインドに行って、そこで彼らを見てきました。インドには4億7000万人の人々がいます。正直なところ、そのうちの4億人は物乞いです。どこにでも乞食、乞食、乞食がいます。彼らはそれぞれ自分の役職と場所、そして観光客の注意を引くために行うある種の小さな魅力を持っています。そして、そのような哀れな光景なのです。

14 そして、私たちは彼がそこに座っているのを見つけます。そして、悪い夜の後、まあ、彼はそこに誰もいないのを見て、多分彼は岩の上に座ると思った。ヨシユアが入った場所から彼の時代に壁が取り壊され、大きな岩が片側に並んでいたことをご存知でしょう。ですから、彼はエルサレムに通じる北の門の脇で自分の道を見つけたに違いありません。

そして、彼は日光の下でそこに座って、こう考えていました。「まあ、今は春になります。暖かい太陽の下でここに座っていると思います。今朝は肌寒くて服が薄いです。暖かい太陽の下で少しの間ここに座ります、そして多分私が私のコインを手に入れることができるものが残っているかもしれません。そうしないと、今日、私の家族はお腹がすいたでしょう。」

そしてそこに座ったとき、彼は自分の夢について考え始めました。「昨夜、私は自分が見えることを夢見ていました。ああ、空はどのようにきれいな見えなければならぬか。丘は再び咲き始めています。」

それから彼の心は彼がヨルダンの土手の周りに住んでいたときの彼が小さな少年だった頃にに戻ります、そしてその春先に、なぜ、大きなキンポウゲが現れ、小さな花があったのですか？ 小さな男の子が、丘の上を歩き回って座って花を摘み、朝のレイアウトのようにして、春にやってくる大きな白い雲がどれほどきれいな空であるかを考えていたのです。そして、緑がどのように上がってきたか、空がどれほど青いか。ヨルダンは腫れ上がっていて、ユデアから雪が降り、花がどのように咲いていたか。

15 それから彼は私たち全員が聞きたいおなじみの声、母親の甘い声を聞いて、「バルティマイ、私の小さな者よ、昼食の準備ができていますよ」と呼びました。そして、父親がどこかで働いていたとき、彼がどのようにやって来たのか、その小さなユダヤ人の母親がどのように彼の階段を待って、彼を腕に抱き、抱きしめて夕食に連れて行ったのか。それから彼が通り抜けた後、ポーチに出て行きます。そして、彼はポーチに座っていて、母親がどのように彼を揺さぶるのか、そして彼は午後の昼寝をしなければならなかったのです。

それで、彼女がどのように彼の目から髪を掻き戻すか、そして彼は見上げて、母親のそれらのかわいくて大きくて柔らかい目を見るでしょう。そして、彼女が彼の小さな頬にどのようにキスしてこう言うのでしょうか。「ああ、あなたのような素敵な小さな男の子、バルティマイを偉大なエホバ神に感謝します。バルティマイ、あなたが生まれたとき、私はあなたをエホバに捧げました。私はいつも、エホバがいつかあなたを使うと信じていました、バルティマイ。彼はあなたを彼の栄光のために使うでしょう。」

そして彼はこう思います。「ここで私は盲目的にここに座っています。私が遊んだり見たりした場所からおそらく1マイル以上離れていません。そして、エホバはどのように私を使うことができたのでしょうか？ 私は盲目です。私には希望はありません。」

16 しかし、私たちは常に知っているわけではありません。神は彼の不思議を実行するために神秘的な方法で働きます。私たちが神に何かを託し、それを信じるなら、私たちの子供たちやそれ以上のもののように、神がその祈りに答えてくれると信じましょう。今日、私が立ち去る前に、電話が絶えず鳴り、母親たちは子供たちと一緒に「今、彼らのために祈ってください」と言っていました。

私は言いました「さて、彼らを神に託して下さい、あなたがしなければならないのはそれがすべてです。そして、もうそれに手を置かないでください。神にそれを持たせてください。」あなたがそれについて何かをするつもりなら、神は立ち止まって、あなたが終わるまであなたを先に進めさせてくれるでしょう。しかし、あなたがそれを神に託し、神にそれを持たせるとき、神はそれをなさるでしょう。あなたはただ彼を信じています。ただ立ち止まって、うまくいかないが、信じなさい。あなたが神がそうすることを信じるならば、それは恵みが義のために帰属されることです。

17 それから彼は間違いなく、母親が聖書の物語を読んでいた方法を覚えていると心の中で言いました。あなたはそれが母親が子供たちの聖書の物語を読む時間があったことを知っています。彼らはもうそれを持っていません。彼らは新しい車を手に入れるか、外に出てレディスカードパーティーに行くか、そしてすべてをしなければなりませんでした。

母親達は...泉から水を詰めて持って行って沸騰させなければならなかったのです。私の母は大きな古い鉄のやかんを持っていて、外で洗っていたのを覚えています、そして...彼女は今、現代の母がボタンを押すだけの時間よりも多くの時間を過ごしました。他のすべて。ボタンを押すだけ。しかし、私たちの現代的な便利さが私たちをどこにも連れて行ってくれたとは思いません。そしてそれが何であるか、それは私たちをひどく怠惰にし、心臓の問題や他のすべてで私たちを殺しました。

スザンヌウェズリーには17人の子供がいました。そして、数百年前に17人の子供たちと一緒にいたとしても、彼女は忙しいスケジュールの中で、福音を読んで子供たちのために祈るのに1日2時間から3時間かかることがありました。何が起こったのですか？ 彼女にはジョンとチャールズがいて、世界をひっくり返しました。

スザンヌ・ウェズリー: 私は少し前に彼女の墓のそばに立ち、石に手を置いた。私は「神様、アメリカにそのような母親を何人か与えなさい」と言いました。そうです。彼女はチャールズとジョン・ウェズリーをプロデュースしました。チャールズは世界に最高の福音の歌をいくつか与えました。そして、ヨハネ、ああ、何てこと！ 彼は確かに火から奪われた火のブランドでした。そうです。彼はなんて素晴らしい神の人だったのでしょうか。

18 さて、しかし今日、私たちの現代の便利さのすべてで、そして彼女の子供たちに聖書を読む代わりに、テレビの電源を入れて、彼らが見るのにさえ適していない何かを見させます。さて、そうです。そうです。そしてもう一つ、私たちは彼らにこれらの小さな古い漫画本と、キンドリングウッドを作ったり、火をつけたりするために売られるべきではないドラッグストアのマントからの小さな古い物語の本を渡します。それでも、私たちはそのようなものすべてを子供たちの首に突き刺しました。

なぜ、アメリカ人...きっとそこにいるでしょう...アメリカのほぼすべての少年がデイビー・クロケットが誰であるかをあなたに言うことができます。しかし、私は彼らの3分の1がイエス・キリストが誰であるかをあなたに言うことができないと思います。そうです。ああ、ローンレンジャー、またはそのような誰か、または映画スター、彼らはそれが彼らの前に置かれているのでそれについてすべて知っています。

そして、聖書は片付けられている本です。そして、大臣が来るとき、彼らはそれを掘り出し、それをほこりを払い、そのように置きます。それは決して読まれません。今日私たちに必要なのは、子供たちを祈りに戻すための古き良き母親たちです。それは、少年の滞納を治すために私が知っている最善の治療法です—そうです—古き良き正直な母親です。

19 彼らが私たちの出身国のあちこちでケンタッキー州の母親の非識字について話しているのを聞いています。今、彼らはそうかもしれません...彼らは右手と左手を知らないかもしれません。しかし、あなたは彼女の女の子の一人を一晩で彼らの髪を裏返しにし、彼女の服をすべて彼女から外し、口紅を彼女の顔全体に塗りつけて、そのようにしました。そして、少し酔っ払って、浅くて、タバコを吸う人が娘を日中の周りに連れてきます。言っておきますが、彼女は3か月間ベッドから出ることができなくなります。今それを保証します。はい、先生。そして、あなたは非識字について話します！私たちはそれらの種類のママをもっと必要としています。はい。はい。それは規律を取り戻すでしょう。

私たちの家には十戒がありました。彼らはドアにぶら下がっていました。ヒッコリーは彼らの10人全員でした、結局そのように。そして、私はあなたに言います、私たちはそれから私たちの教育を得ました。そうです。私は父がまだ手を伸ばして「ウィリアム...」と言うのを見ることができます。

「ああ、何と！」と言います。私は何が来るのか知っていました。しかし、彼がそれをしてくれてうれしいです。そうなのです。

20 バルティマイは彼の大切な小さな母親のことを、彼女が主がなさったことについて聖書の物語を彼にどのように語っていたかについて考えました。彼女はこう言います。「バルティマイ、ほら、我々はユダヤ人です。神の選びによって……。私たちが彼を愛し、彼に仕えたので、彼は私たちを彼の民として選んだのです。バルティマイ、あなたはいつか偉大な人になるために生きるかもしれません。私はあなたがイスラエルの王になることを期待しています。してほしい……」

すべての母親の期待は、彼女の子供が素晴らしいものになることであり、それが彼女のあるべき姿です。そして彼女は言いました、「私は祈りました。そして、あなたが地上に来ていることを知ったとき、神があなたを私の心の下に置いたとき、まあ、私はあなたの小さな命を神に与えました。そして、あなたは私があなたにこの偉大な神に仕えて欲しいのを知っています。バルティマイ、彼の素晴らしさをお話します。

「そして、ご存知のように、私たちはエジプトから出てきていました。私たちはかつて奴隷でした、そして彼は私たちをエジプトから連れ出しました」—彼がどのように紅海を開き、マナによって天国からイスラエルの子供たちを養い、彼らのために肉(ウズラ)を吹き込み、岩から水を与えたのか砂漠、そして彼がしたすべての素晴らしいこと。そして、ああ、彼の小さな明るい目はただ……。

彼は、「ああ、ママ、それでも素晴らしいエホバは生きていますか？」と言うでしょう。

「ああ、はい、最愛の人。彼は今までとまったく同じです。彼はまだエホバです。」

21 彼はかつてその話を愛し、イスラエルの子供たちがかつてどのように過ごしたかについて話していました...と言いました。イスラエルの。私たちが行く街のすぐ近くのエリコで食料品を手に入れ、ヨシユアはすぐそこを渡りました。偉大で力強い戦士であり、神のしもべです。」

モーセが山の頂上に立って、川のうねる潮を眺め、不信者が「今はいい時だ。私たちは安全です。神は貧しいエンジニアです。この時期を選んで渡ってください。」

しかし、神は時々、彼が神であることを証明するのに最悪の時間を費やすだけです。はい、先生。川が

低いときに彼が彼らを連れて行ったように見えます...川が低いときに彼らをそこに連れてきました。いや、それはそうではありません。彼はあなたに彼が神であることを証明したいだけです。彼は自分の栄光を現すのが好きです。ああ、私はそれが大好きです。彼が神であることを見て知るために、私は大好きです。

22 それから、小さなバルティマイがとても好きだった物語の1つは、シュナムの女の物語でした。なぜなら、そこには小さな男の子がいたからです。そこには小さな男の子がいます...そして彼女はその偉大で強力な預言者エリヤについて、神が彼をそのような偉大な強力な預言者にした方法について話しました。彼は荒野に住んでいて、服をあまり持っていませんでした、そして彼は彼の周りに革片を包みました、そして彼がいかに偉大で強大な神の人であったか。彼は神の油注ぎの下で生きました。

そして、彼はある都市を通り抜けると、そこにシュナム人の女がいました。そして彼女は優しい女性で、神も愛していました。異邦人でありながら、彼女は神を愛していました。そして、私は彼女がバルティマイに言ったかもしれないと言うかもしれません。「バルティマイ、私たちは神から選ばれました。しかし、いつか素晴らしい救世主が来るでしょう。そして、彼が来る時、彼はすべての国を呼ぶ人になるでしょう、なぜなら...このシュナム人の女...神は愛されるすべての人にとって愛らしいのです。彼は来て助けられたい人々を助けたいと思っています。

23 「そして、バルティマイ、この偉大なる女性、彼女はこの聖なる男が街を通り抜けるのを見るでしょう。それで、彼女は神を愛していたので彼にいくらかの好意を示したかったのです、そして彼女はこれが彼の僕であることを知っていました、そして彼女は彼を助け、彼のために何かをしたかったのです。それで彼女は彼が来るのを見て、外に出て彼に来て彼らと一緒にいるようにと言いました。

「それで、彼女の夫はかなり金持ちでした。それである日、彼女は夫に言いました、「親愛なる、この偉大な神の聖なる人がここにやって来て、彼はカーメル山の彼が住んでいる洞窟に行きます。ですから、彼がここを通り抜ける時、私たちの家の横に彼に小さな部屋を建てたらいいのと思います。私たち二人とも神を信じており、神は神であり、それが神の代表であるため、私たちがそうするなら、それは本当に素晴らしいことだと思います。それが今、地球上で最高の秩序であり、神は彼の代表です。」

「それで彼女の夫は言いました、『私はそれでいいと思います』。そこで彼らはそこに小さな家を建てました。

24 そしてある日、エリヤと彼の僕であるゲハジがやって来て、そこに建てられたこの小さな部屋を見て入った。彼らはそこに素敵で小さなベッドと小さなスツールと水とすべてを持って来た。

「そう言った、『このシュナムの女に私が彼女のために何ができるか聞いてください。彼女は私たちにとっても親切にしてくれました、多分私たちは親切を返すことができます。たぶん、彼女は私に王と話したいのかもしれないし、あるいは彼女は私に主将や誰かと話したいのかもしれない。』

「しかし、ご存知のように、バルティマイ、その女性は...彼女は何も求めていませんでした。しかし、ゲハジが戻ってきたとき、彼は言いました、「神の偉大な預言者エリヤ、その女性は不毛です。彼女には子供がいません。彼女には子供がいなかった。」と言います。「バルティマエウス、あなたはどんな母親もあなたのようなかわいい男の子を望んでいることを知っています。それが、エホバがあなたのような小さな男の子を私に与えるのにとっても良い理由です。そして、そのかわいそうな母親はあなたのような小さな男の子を望んでいました。

「それでエリヤは言いました、『私の前に立つように彼女に言ってください』。そして、間違いなく、エリヤは何をすべきかについてのビジョンを持っていました。それで、その女性が入ってきたとき、彼は言いました、「人生の時によれば、あなたは息子を産むつもりです」。そして彼女は出かけました。

「又、あなたは何を知っていますか、バルティマイ? その母親は、あなたがユダヤ人の小さな男の子である、かわいい小さな男の子を受け取りました。その母親がその小さな男の子をどのように愛したか。彼女は彼が一番甘い小さなものだと思っていたに違いありません。

25 「そして彼が約11歳のとき、ある日彼はパパと一緒に畑に出て収穫をしました。そして、彼が「私の頭、私の頭」と言い始めたので、彼は日光浴をしたに違いないと私は信じています。彼はどんどん病気になる。それで、父親は雇われた手で本当に忙しかったので、彼は小さな仲間を連れて行く召使いを持っていて、彼を母親の膝の上に置きました。彼女は正午ごろまで彼を膝の上に置き続けました、そして、息はすべて彼から消えました、そして、かわいそうな小さな男の子は死にました。

「さて、しかしバルティマイ、この異邦人の女性が今、彼女が何をしたかに気づいてほしい。彼女は彼を連れて行き、預言者のベッドに横たえました。さて、素晴らしい啓示があります、見てください。彼女は彼を自分のベッドに連れて行かなかったし、彼を自分のベッドにも父親のベッドにも連れて行かなかった。彼女は彼を連れて行き、預言者が眠っていた部屋の預言者のベッドに寝かせました。

26 「それから彼女は夫に言った、「あなたはラバをサドルします」。そして、「あなたは今私のために前進します」と召使いに言いました、そして止まらないでください。誰かがあなたに敬礼するなら、彼らに敬礼しないでください、しかしあなたはカーメル山にある神の人のところにまっすぐに行きます。

「さて」と彼女の夫は言いました。「それは新月でも安息日でもないので、神の人はそこにいません。」

「彼女は言った、『すべてがうまくいくだろう。』」

私はそれが好きです、あなたがその本当の信仰を握ったとき、それを続けてください。それは今あなた方すべての小さなバルティマイにとって良い教訓です。見て、そして言いました、「どうぞ。社会的な呼びかけや物事のために立ち止まらないでください。ただ前進してください。続けてください。私があなたにやめるように命じるまでやめないでください。」そしてもちろん、彼がカルメル山に近づいたとき、預言者が...

ご存知のように、神は彼の預言者にすべてを明らかにするわけではありません。私たちは皆それを知っています。彼は預言者に彼らに知ってほしいことを明らかにするだけです。

27 そして今、彼が近づいたとき、エリシャは出て行きました—おそらく年を取り、おそらく少し視界が暗くなっていました。彼は手を挙げて言いました、「あのシュナム人がやって来て、彼女は心配しているように見えます。しかし、神はそれを私から遠ざけてくれました。」

それで彼はゲハジに「外に出て彼女に電話して」と言いました。

しかし、彼女はかなりうまくスピードを上げていました。彼女がそこに着いたとき、彼は叫びました。あなたの夫は大丈夫ですか？あなたの子供は大丈夫ですか？

そして、その女性が言ったことを見てください。「すべてが順調です。」ほら、彼女は神がその預言者の中にいることを知っていました。そうです。彼女はそれがその日に神が持っていた最高の秩序であることを知っていました。

マルタがそのアイデアを思いついたのはそこだと思います。彼女はその話を讀んだに違いない。彼女の兄弟ラザロが死んだとき、彼女は神がその預言者の中にいたかどうか、神は確かに彼の息子の中にいたことを知っていました。そうです。それで彼女は彼のところに行き、言いました、「主よ、もしあなたがここにいたら、私の兄弟は死ななかつたでしょう。しかし、今でもあなたが神に求めるものは何でも、神はあなたにそれを与えるでしょう。」私はそれが好きです。私はそれが好きです。ほら、それは彼を驚かせました。「今でも、あなたが神に求めるものは何でも、神はあなたにそれを与えるでしょう。」ね。

28 このつぶれた足でここに座っているこの小さな男の子、ここに座っている別の若い仲間、昨夜彼らが両方とも叫んでいるのを見ました。ペンテコステの少年でなければなりません。彼らの心に神がなければなりません。あなたは言います、「ブラナム兄弟、私はおそらく二度と歩くことはないでしょう。医者には私はいないと言います。」

これはここに心臓の問題があり、これはそれが何であれ、あなたの問題が何であれ、あなたは言います。「まあ、医者には私はいないと言っています。私はこれを乗り越えることは決してできません。私は癌になりました...私は腫瘍になりました...私は何とかになりました。」

「しかし、今でも、主よ、あなたが父に尋ねるものは何でも、彼はあなたにそれを与えるでしょう。」それだけです。今でも、あなたが神に求めるものは何でも、神はあなたにそれを与えます。それがマーサがその話を聞いた場所だったに違いありません。

29 シュナム人の女は「すべてが順調です」と言いました。さて、彼女はその少年を求めていませんでしたが、神がこの預言者を通して、なぜ彼がその少年を連れて行ったのかを彼女に告げることができ、それが彼女を満足させることを知っていました。彼がなぜその少年を連れて行ったのかを彼が言うことができれば、すべてが大丈夫でした。それで彼女は神の代理人の前にいました、そしてすべてが順調でした。

小さなバルティマイの目がちょうど明るくなると思います。「ママ、ママ、さあ。何が起こったのか教えてください。ほら、小さな男の子は急いでいます。彼らは終わりが何であるかを知りたいのです。」

さて、偉大な預言者は、彼女が彼に明らかにし、彼女に彼女の話をした後、何を....小さな男の子は死んで、部屋に横たわっていました、今、預言者は彼の僕に言いました。子供に。」さて、再び新約聖書で、パウロが自分の体からハンカチとエプロンを取り出すという考えを得た場所だと思います。

30 今、エリシャは彼が触れたすべてが祝福されていることを知っていました。しかし、もし彼が女性にそれを信じさせることができれば、それだけでした。もし彼が女性に同じことを信じさせることができれば、もし女性が何を信じていたら、奇跡はこれまでと同じように起こったでしょう。エリシャは彼女にそうするように言いました。しかし、女性の信仰はスタッフにはありませんでした。

今、私は彼女がとにかくそれを言った方法が好きです。彼女は言いました、「主は生きておられ、あなたの魂は決して死なないので、私はあなたを離れるつもりはありません。」

私はそれが好きです。保持することを決心しました。それだけのです。あなたが神のために始めたなら、あなたが求めたすべてが起こるまで、聖霊が来るまで待つてください。ただそれをあきらめないでください。「私はあなたから離れません。主よ、あなたが私に答えるまで、私はあなたの手にあります。」それがその方法です。

あなたはイエスがそのようにそれを教えたのを知っています。彼は不当な裁判官が、あなたが知っているように、彼が彼女の敵の未亡人に復讐しない方法を言いました。しかし、彼は「彼女を私の手から離すために、私は先に進んで彼女の敵に復讐します」と言いました。さて、あなたの親切な天の父はあなたにどれだけ多くを喜んで与えてくれるでしょうか。しかし、今見てください。彼は言った、「探して、あなたは見つけて、たたくと、それは開かれ、尋ねるでしょう。」

さて、あなたがそれが「主よ、私はそれが欲しい」だけではないことに気づいたら。「尋ねる者は...求める。」探し続けてください。ノックし続けてください。続けてください。あなたはそこに到着したので、それが起こるまでノックし続けてください。「主よ、私はそれを信じています。私はあなたの手にあります。私はあなたの手にあります。」

31 主が私を胃の問題から癒してくれたことを覚えていますね。悪魔は「あなたは癒されていない」と言いました。

私は言いました。「それなら、ただ立ち止まって、私が証言するのを聞いてください。神がほめられるのを聞きたいのなら、しばらく立ち止まって私に耳を傾けてください。」彼は疲れて立ち去りました。だから彼はそうするでしょう。

先日、彼は私にひどい寒さを与えようとしてきました。彼はそれを私に手渡した、そして私はそれを彼に返します。彼はそれを再び私に手渡した。また彼に返します。そして、私たちはそれを3、4日間戦っただけで、ついにそれは消えました。だから、あなたはそこにいます、ほら。ただそれを彼に返し続けてください。ただそれを受け取らないでください。それを彼に返してください。それを彼に返してください。それがその方法です。ただ決心してください。しっかりして。

32 それが彼女のやり方です。彼女は、「主は生きておられ、あなたの魂は決して死なない……」と言いました。さて、彼女は彼が死なない魂を持っていると信じていました。「主が生き、あなたの魂が生きるので、私はあなたを離れるつもりはありません。何が起こったのかがわかるまで、あなたと一緒にいるつもりです。」それで彼は彼女を手から離すことができませんでした。それで彼は腰をかがめる必要がありました、そしてここに彼は行きました。

彼が部屋に入ったとき私は気づきました...その預言者が何に敵対しなければならなかったか見てください。彼は主が何をなさるのか知りませんでした。声の一番上で叫んでいる父親がいて、近所みんなが叫んでいました。その立派な小さな男の子、この素敵な家族は死んでいて、部屋に横たわっていました、すべての希望は消えていました。

さて、エリシャは何をしましたか？ イエスがしたように、彼ら全員を家から出してください。ヤイロの娘が死んだときにイエスがしたように、それがあった場所から離れました。そして、預言者がしたことを見てください。彼は外に出て探して祈ったり、祈って準備をしたりする必要はありませんでした。いいえ、私たちはいつ

も祈り続けるべきだと思います、そういませんか？

33 少し前にここに小さなアイルランド人の女性が船に乗ってやって来たと言った。そして、ニューヨーク港から約30、40マイル離れたところに、ひどい嵐が来ました。そして、小さな船は彼らがそれを成し遂げることができるとは思っていませんでした。彼らはSOSを送りました。そして彼らは嵐がどんどん悪化していると彼らに言いました。彼らが30分間それを襲撃することができれば、彼らは港に到着するでしょう。しかし、もし彼らができなかつたら、彼らは海の底にいます。それで、すべてのジャズ音楽は止まり、彼らは「あなたに私の神の近くに」などと祈り、演奏し始めました。

しかし、この小さなアイルランドの女性は、叫びながら床を上下に歩きました。「ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ！」彼女は言った。

船長は「分かりましたか？」と言いました。

言いました、「はい、理解しました。」

「じゃあ、祈ってみませんか？」と言いました。

彼女は「私はすでに祈っています」と言いました。それだけです。祈って準備をしてください。それが私たちがしなければならない方法です。そして彼女は「とてもうれしい」と言いました。そして、彼女は再び叫び始めました。

船長は「何を叫んでるの？」と言いました。

彼女は言いました。「30分待ったらニューヨークにいるとおっしゃっていました。もしそうでなかつたら、私たちは海の底にいたでしょう。」

「そうです」と言いました。

「私はニューヨークで娘に会うためにアイルランドからの道を進んでいます。私は栄光の1つを持っています、そして今から30分後に私はそれらの1つを見るでしょう。」

船が下がった場合、彼女は上がった。それだけです。失うことはできませんね。それで彼女はとにかくただ叫んでいました。彼女は30分で彼女の愛する人の一人に会うことを知っていました。ああ、それだけです。祈ってください。

34 古(いにしえ)のエリシャは、彼が船に乗ったとき...または、彼女が彼を建てた小さな場所のプラットホームに乗ったとき、彼は床を横切って前後に歩きました。そして彼は部屋の中を行ったり来たりしたと聖書は言っています。そして、御霊が来たのを感じた後、彼は行って赤ちゃんの上に横になり、肉を持って赤ちゃんの上に横になりました。

そして、赤ちゃんが暖かくなっているのを感じたので、起き上がって部屋の中を行ったり来たりしました。戻ってきて、再び赤ちゃんに横になりました。そしてそれは7回くしゃくしゃになって生き返りました。彼は赤ん坊を迎えに行き、「シュナム人と呼んで」と言いました。そして、ああ、バルティマイがどれほどそのようであったか。

35 彼は、「ああ、母がそれらの話をするのを聞いていたとき！」と考え始めます。その頃、彼は何かカチツという音がして、小さなラバが来るのを聞いた。旅行のほとんどは徒歩または車で行ったので、一種の金持ちであるに違いありません。金持ちはロバに乗り、軍は戦車を使いました。

そして彼は、「これは遅れて来る裕福な人に違いない」と言いました。それで彼は立ち上がって衣服を捨て、足りなくなって言いました。「盲人のための施し。目の見えない人のための施しをお願いします。」

そして小さなラバが止まり、彼は本当の不機嫌そうな声が言うのを聞きました。私はエルサレムのミニスター協会の長です。彼らは私に...あるだろうと言います。私は主の僕です。彼らは、これらのいわゆる預言者の一人が今日ここにやって来て、ビジョンなどを見ていると私に言います。彼らは癒しのサービスを受けることになっています。今日は評議会全体をここに集めます。私はこれらのミニスターを集めて、この辺りにそのようなナンセンスがないことを確認する必要があります。私の邪魔にならないように[不明瞭な言葉]、主の。」通りを下って小さなラバが行きました。

そしてバルティマエイはこう思いました。そして、それが私の僕です。」

36 さて、彼は岩がどこにあるかを見つけようとして戻ってきました。ついに彼が岩を見つけたとき、太陽は少し上を移動し、それは一種の肌寒くなった。壁の影が岩の上にあったので、彼は少し遠くに移動し、彼は言いました。「まあ、私はその日のコインを持っていないと思います。だから、たぶん少し待って、また座ってみるかもしれません。たぶん、私が小さい頃の空想を続けていきます。」

それから彼はまた、彼の母親が何年も前に、その偉大な預言者エリヤとエリシャ、彼の代わりになった人、神の2人の強大な人が同じ石畳の通りを互いに腕を組んでやって来ると言ったことを思い出しました、ヨルダンに降りてヨルダンを開きます。ああ、私の！彼が座っていた場所から30フィート以内を通り過ぎました。

37 しかし、悲しいかな、司祭は彼に言いました、「奇跡のすべての日は過ぎ去りました。エホバはもはや人々を癒しません。」その霊は決して消えませんでした。「ああ、エホバはそれらのことをもうしません。私たちはただ良い生活をし、十分なお金を払い、すべての集会で教会に行くことになっています、そしてそれから...それが私たちがすることになっているすべてです。しかし、エホバはそうではありません。彼はそこにいたエホバでしたが、今日、彼はそれについて心配していません。」

ああ、なんて間違いだ！彼はいつも心配しています。彼が今まで心配していたとしても、彼はまだ心配しています。はい、先生。彼は動機を変えることはできません。彼は態度を変えることはできません。彼はまだエホバです。彼が変わったと何人が言っても構わない。それは人々が変わったのですが、彼は変わっていません。私たちが彼がそれらのことをしているのを見ない理由は、私たちが彼にそれをさせないからです。彼は喜んでいます。

38 私たちは彼の豊かな祝福を尽くすと思います。「まあ、私は神に日々の糧をくれと頼んだ。私は彼にあまり多くのことを尋ねるべきではありません。」ああ、私の！

この海の真ん中にいる、そこまでの長い小さな魚がこう言っているのを想像できますか？「待って、この水は控えめに飲んだほうがいい。いつかなくなるかもしれません。」

エジプトの偉大な収穫者の下にあるその大きなものについての小さなネズミを想像できますか？次の収穫までになくなるかもしれません。」私！ええと、それを1000億倍するだけで、あなたは神の善と憐れみを使い果たしようとしています。

彼はあなたに自分の道押し込もうとしています—彼ができるすべてのことです。あなたの喜びがいっぱいになるかもしれないことを十分に尋ねてください。彼は人々が幸せになり、素晴らしいことを求め、素晴らしいことを信じることを望んでいます。あなたは丘の上にある都市です—高い野心、期待。さて、憐れみ、盲人が今夜彼らの視力を受け取るのを見たら、私は明日の夜に死者がよみがえったのを見たいです。はい、先生。そして、私はもっと大きなことを信じ続けます。

教会が聖霊を受けて異言で話し始めたとき、なぜあなたはそれに落ち着いたのですか？私、ただ進み続けてください。約束の地に行きなさい。私たちは約束の地に向かっています。確かに、ただ一つのことをとらないでください。次のように言います。「まあ、私たちはただ……異言で話しましたか？ええと、あなたが得るまで、あなたは大きな祝福を得ていません。」ええと、あなたは今、そこから百万マイル先にはずです。確かに—より大きなこと、大きな期待。確かに。

39 さて、バルティマイは奇跡の時代は過ぎ去ったと言われていたことがわかりました。それで彼は言いました、「さて、もし私がここに座っていたら、今日自分を神の僕と呼んでいるその人の言うことを聞く代わりに…？そして、彼は何と言いましたか？彼は何かについて見に行っていました、そして何ですか…？街で何が起きているのだろうか。まあ、とにかく、奇跡の時代は過ぎ去りました。」

そして、それはエホバが今日持っている種類の僕ですか？それはエリヤやエリシャとは大きく異なります。さて、もし私がこの岩の上に座っていたとしたら、エリヤとエリシャがそこを通り過ぎたとき、ヨルダンに下りました…

「そして、私が座っている下のほんの少しの部分だけでなく、その偉大な預言者が彼のコートとマントを脱いで、それを一緒に折りたたんでヨルダンを打ちました、そして彼女は道を譲りました。」アーメン。ヨシユアが同じことをした数百年後。アーメン。それは、エホバが誰かに彼が同じであると信じさせることができる

限り、エホバがまだ同じであることを示しました。はい。

40 それから彼が反対側に着いた後...

今、彼は疲れていました。彼はイゼベルと彼らに大騒ぎしていました...彼が疲れるまで、彼女の絵を描き続けていました。彼は家に帰っていた。そして、若い預言者が彼の代わりにしなければなりません。それで彼は川の向こう側のどこかに茂みに引っ掛けられた戦車があることを知っていました、そして彼は家まで少し乗るつもりでした、見てください。

しかし、若い預言者は彼の新しいミニストリーを見ていて、この古いミニストリーが何をしているかを見ていたので、彼は自分の代わりにしなければならないことを知っていました。

それで若い預言者は彼のビジョンを捉え、彼が上がるのを見ました。彼の衣服が下に渡されたのを捕まえた。同じ衣服を手に取り、ヨルダンを打って、「エリヤの神はどこにいますか?」と言いました。ああ、私の! そして、彼女は再び開いた。そうです。

ペンテコステの神はどこにいますか? イエス・キリストの中にいた神はどこにいますか? 今日の教会でのミニストリーの問題は何ですか?

41 彼らが私に送った紙のその部分を読んだと思います。ここの教会の誰かがそれを私に送ってくれました、そこでこの聖公会の牧師は処女の誕生はただの神話だと言いました。エデンの園のようなものはありませんでした。その男は説教壇に属していません。いいえ。

さて、それが今日の問題です。それが...取る...そのような偉大な教育を受けた人々は立ち上がって、彼らはそれを保持する方法を知るのに十分な勇気を持っていないほど多くの教育を受けています。それだけです。今日必要なもの...

パウロは言いました。「私は卓越した言葉や教育であなたのところに来ることは決してありません。私は聖霊の力とデモンストレーションで単純にあなたのところに来ます。あなたの信仰は神の復活と力にかかっているのです。」滑らかな言葉や、いわゆる司教や何かではありません。。

42 さて、少し後に、バルティマイがもう少し長くそこに座って、何が起こるのだろうと思っていたことがわかりました。それから彼は、そのすぐ下、彼が座っていた場所から500ヤードではないことを思い出しました。紅海に出くわす、モーセの代わりをした偉大な神の僕である偉大なヨシユア(ああ、私の!)。そして、荒野で彼らが土地を奪うことができると信じていた古いグループのうちの2人だけに出くわしました。彼らは神の言葉を見ました。彼らは神の言葉を信じていました。そのうちの9人は言いました。「ああ、私たちはそれを受け入れることができません。私たちは彼らのそばにバツタのように見えます。都市はすべて壁に囲まれています。それを行うことは不可能です。」

しかし、その仲間ではありません! いいえ、兄弟。彼は、「私たちはそれを受け入れることができる以上のものです」と言いました。

なぜですか? それはあなたが見ているものに依存します。あなたが不自由な手を見ているなら、それはそのようにとどまります。あなたがあなたの腫瘍を見ているならば、それはそのように残ります。それから目をそらしてください。神の約束を見てください。それはあなたが見ているものに依存します。クリスチャンは目に見えないものを見ます。アブラハムは、神がそうだとされたので、そうではないものと呼びました。それが本物のクリスチャンのやり方です。世界が何を言っても、それがどのように見えても、それはそれとは何の関係もありません。それは神がそれについて言われたことですそれはそれをする事です。はい。何だったのか.....

43 神は彼らにエジプトで「私はあなたにその土地を与えます」と言われました。しかし、彼は言いませんでした。「私はそこに出て、それをすべて一掃し、家を飾り、カーテンやその他すべてを掛けます。みなさんはただ入居してください。」いいえ、いいえ。彼らは自分たちが取った地面の隅々まで戦い(そうです、戦い)、あらゆる戦い、隅々までそれを取らなければなりません。しかし、彼は「あなたの足の裏が着地するところならどこでも、それは所有物です」と言いました。足音は所持です。

それは今日と同じことです。神の癒しは私たちのものです。聖霊は私たちのものです。それは私たちの財産ですが、あなたはそれを隅々まで戦うでしょう。はい、先生。しかし、兄弟、足音は所有物です。ただ戦い続けなさい。それを取る。悪魔は「奇跡の時代は過ぎ去った」と言います。

次のように言います。「あなたはうそつきです。神は彼が昨日も今日もそして永遠に同じであると言われました。」それを引き継ぐ。あなたの足が踏み出すところはどこでも、それは所有物です。そうです。

44 ヨシユアは彼らと一緒に川の向こう側にやって来て、そこにキャンプしました。ああ、盲目のバルティマエウスは言いました。なぜ、彼らの司祭たちが歩いているのを見て、ヨシユアがその剣を空中に上げて歩いているのを見るとすぐに、なぜ、私はそこに行って、「偉大なヨシユア、私のために祈ってください」と言ったでしょう。そして、その偉大な人が私のために祈っていたら、私は私の視力を得ていただろうと信じています。確かに。しかし、残念ながら、ヨシユアは去りました。そして神は、私が思うに、なくなっています。そして奇跡の日々は過ぎ去ったので、私たちの司祭は言います。だから私はそれは絶望的だと思います。私にできることは何もありません。だから...絶望的です。」

それから彼は言いました「あなたは何を知っていますか 彼らがエルサレムの周りの壁を何日もコンパスした後...ある日、その偉大な戦士であるヨシユアは、ある日の午後、エリコの壁をどのように取るかという戦略を研究していました。彼はその緋色の筋がラハブにぶら下がっているのを見ました。彼はその家を惜しまないで、それを見ていた。

そして、彼は一斉に彼の前に立って見ました、そして彼の剣を引いた別の男がそこに立っていました。ヨシユアは剣を抜いて、彼に会いに走り、決闘で彼に挑戦しました。彼は言った、「あなたは私たちのためですか、それとも私たちの敵のためですか?」

彼は言いました、「私は主の軍勢の船長です。私は主の主人の船長です。」ヨシユアは剣を投げ、ヘルメットを脱ぎ、足元に倒れました。

盲目のバルティマイは、「ああ、もし私がおその日に生きていたら、主の軍勢の船長に駆け寄り、彼に話しかけたでしょう」と言ったでしょう。彼は、同じ船長が彼から100ヤードも離れていないことをほとんど知りませんでした。そのとき、街を通り抜けていました。街を通る彼の道にいる主の軍勢の長です。

45 あなたが知っている、それは私たちが彼について考え始める時です、それは彼が現れる時です。それはクレオパスと彼らが彼が現れたときに彼について考えていた時です。それはいつでも……「私の心の瞑想をさせ、すべての考えをさせ、すべての歌をさせ、私が昼も夜もあなたについてただ瞑想させてください。」それが神をあなたに近づける方法です。ジョーンズが何をしているのか、来週何をするのか、そしてこれらすべてのことについて考えるのをやめましょう。そのままにしておいて、そのままにしておいて…。

「私は天の鳩と一緒に歩きながら、毎日愛で私の道を満たしてください。ずっと歌と笑顔で行かせてください。毎日私の道を愛で満たしてください。」そうです。学校が維持しているかどうかに関係なく、道を進んでください。そうでない場合は、先生を退けます。ただ主を信じてすぐに行ってください、ほら。神に瞑想を続けなさい。これらのことを考えてください。聖書は、「誉がある事、徳と呼ばれるもの、これらのことを考えなさい」と言っています。

46 まあ、私たちの考えは常に否定的です。私たちはプレイヤーラインに来ます...私たちはプレイヤーラインに来ていることに気づきます...「ああ、彼が私に言うなら、これなら...?」ああ、私の、あなたはそのようなものを得ることは決してありません。いいえ、あなたはそもそもとてもネガティブです。そのように来てください...「インマヌエルの静脈から引き出された血で満たされた噴水に来てください。そこでは、洪水の下に落ちた罪人はすべての有罪の汚れを失います。」それだけです。信仰を信じて来なさい。「神に来る者は、自分が自分であると信じ、熱心に神を求める者の報いを与えなければなりません。」

オーラルロバートのプレイヤーライン、トミーヒックスのプレイヤーライン、オズボーンのプレイヤーラインとアレンのプレイヤーライン、ブラナムのプレイヤーライン、まあまあプレイヤーラインを通過するのではなく、この教会に行きましょう。教会。なぜ、あなたはただ時間を無駄にしているだけです、それだけです。それだけです。

やるべきことは、それが神であるとあなたの決心をすることです、そして神はそう言われました、そして私は彼の要件を満たすつもりです、そしてそれはそれを永遠に解決します。アーメン。神はそう言われました。私の牧師を追いかけて、こう言います。「牧師、聖書は私たちに長老たちを呼び、油を注ぎ、祈り、信仰の祈りは病人を救うようにと言っています。私が知らなければならないのはそれだけです。」アーメン。

47 少し前にドイツの小さな女性から手紙が返ってきました。彼女は約15年間関節炎に苦しんでいました。動けませんでした。私は彼女にハンカチを送りました。私たちは月に何千ものそれらを送り出します。

そして、彼女はこの小さな手紙を受け取りました。(私たちは世界中で祈りの連鎖を手に入れました。)

それで彼女はこれを読んで言いました、「さて、ここにこう書いてあります。あなたの牧師がそこにいるか、彼が不信者であるなら、彼に電話しないでください、見てください。しかし、信者である隣人がどこかにいる場合は、信者に電話してください。あなたのすべての過ちを告白してください。あなたがしたすべてのことをあなたに許すように神に頼みなさい。すべてを正しくする。それから祈ってください。あなたの心の上にあなたの下着の上にハンカチを置いてください。それなら信じなさい。」

それで、彼女は彼女に送られたすべての要件を満たしました。そして、そうしたとき、彼女は彼女の心に手を置いた。彼女は言いました、「さて、老人の悪魔、あなたは十分長い間私の中にいました。出て行け。」ここで彼女は歩きに来ます。それは単純なことです。信じるのはとても簡単なのです。

48 ここアリゾナでは、インディアンのアパッチに出かけました。私はいつもアパッチを気の毒に思いました。そして、彼らはその夜そこにいました。それはそこに座っている軍隊のように見えました、そして私は彼らに主について話し始めます。そして、あなたはインディアンを知っています。彼はちょっと変わった人だ。彼はラバのようです:彼は間違った屋台から食事をすることはありません。それで彼はそれを聞いて、最初は偽物だと思いました。そして、彼は持ってきました....

私はプレイヤーラインを呼びました。さて、誰かが「グロリア・ア・ディオス」と叫ぶのを聞いた。それは私のスペイン人の友達でした。彼らはいつも信じる信仰を持っていたので、彼らが周りにいたら、彼らには祈りの列があることを私は知っていました。しかし、これはインド人だけのものでした。

そして、私はそこを見回しました、そして最初に....そこに戻った神の女性の集会、彼女には小さな使命がありました。私はこのような...階段に立っていました、そしてそれらのすべては周りに座っていました。それは美しい光景でした。そして、彼女はそこに戻ってきました。

彼らは最初の女性を連れ出しました。彼女が出てくるとすぐに一大きくて広い手首。彼女の背中には小さな赤ちゃんがいて、この小さなパプスが戻ってきました。そして私は彼女を見ました。私は好意を見つけようと思った。私は「赤ちゃんをくれませんか?」と言いました。彼女はそれをするつもりはなかった。だから私はちょうど彼女の心を捉えていました。

私は「さて(通訳者に)」と言いました、「彼女は性病を患っていますが、それは.....」と通訳は言いました。彼女は私を本当に強く見ました。私は、「さて、それは不道德な生活が原因ではなく、そのような汚れや汚物の中での彼女の生き方が原因でした」と言いました。まあ、彼女は正しかった彼女の頭をうなずいた。彼女のために祈った。

49 次は目の緑内障でした。インド人はその多くを持っています。そしてそのために祈りました。次に出てきたのは小さな女の子で、彼女はそのように頭を下げていました。そして、私は「今....」と言いました。彼女はそのようなことについて、少しちっぽけな人でした。それはたまたま首長の娘の一人でした。私は「さて、その少女」と言いました。「彼女は熱を持っていて、その熱で彼女は耳が聞こえなくなり、馬鹿になりました。彼女は話すことも聞くこともできません。」

そして通訳はそれを言いました、そして母親は言いました、「それは正しかった。そのすべてが正しかったのです。」その後、インディアンはお互いを見回し始めました。彼らは今まで見たことのない何かを見始めました。それで私は言いました「今私は女の子に話したり聞いたりさせることはできません それには神が必要です。」しかし、私は言いました。「これは、彼がここにいること、彼の存在がここにあること、のしるしにすぎません。彼は私たちに油を注がせました。」

それで私はその少女を手を取った。私は「天のお父様(彼らは祈りを解釈しません)」と言いました、「この聴覚障害者と愚かな精神をこの子供から離れさせてください」と私は言いました。そして、私は彼女のところに行き、そのようにしました[ブラナム兄弟が拍手]。

彼女は振り向いて大きな黒い目で私を見ました、そして私は言いました、「あなたは『主を賛美しなさい』と言います。」

彼女は[不明瞭な言葉]そのような別のことを言いました。

私は「彼女はもっと上手に話すでしょう」と言いました。

彼女の母親は、「彼女の話は今、とてもいいです」と言いました。そして彼女は去りました。それで...「彼女の話の山は今良いです。」

50 そしてその次は母親でした。それから次は小さなおじいさんがそこに出てきました。そして私は言いました「まああなたはその神を信じますか...? 英語を話せますか?」いいえ、彼女は英語を話しませんでした。私は言いました、「あなたは神がその小さな子を癒してくれると信じますか?」そして彼女は手を伸ばして彼を頭のとっぺんに連れて行きました—彼らは本当に荒いです—そして彼の小さな古い髪は馬のたてがみと同じくらい粗いので...彼をそのように抱きしめてください。私は言いました「彼は目を交差させました あなたはその神を信じますか...?」

彼女は通訳が「斜視」と言うのを聞いたので、彼女はちょうど彼の頭の昼寝を手に入れ、彼の小さな頭を引き戻し、小さな目がそのようにまっすぐに置かれました。

私は「さて、神が彼の小さな目をまっすぐにすることを信じるなら」と言いました、「それなら神がそれをするでしょう」と私は言いました。

それで通訳に私は「今はゆっくりしてください」と言いました。彼らは文や句読点を持っていません。彼らは本当に低く始まり、高く、高く、低くなります。彼らはただ...あなたはアパッチがいかにあるか知っています。彼らは一種のインディアンの大まかな一種です。それで彼らは彼女が信じるということに「はい」と言いました。

51 私は小さな仲間を連れて行った...彼はまるでブロンコを飼いならそうとしているようなものだった。そして、私はチューインガムを持っていました。私はそれを彼の鼻の下に置き、彼に匂いを嗅がせました。それから私は彼をこのようにして、彼を私の腕の中に入れ、小さな仲間をこのように私の腕の中に入れました。私は「これを解釈しないでください」と言いました。私は「天のお父様、これらの貧しい人々...これは本当に本当のアメリカ人です」と言いました。

そして、そうです。私たちはアメリカ人ではありません。ええと、ええと。私たちはアメリカ人ではありません。私たちは彼らから土地を奪いに来たエイリアンです。彼らは本物のアメリカ人です。神は彼らにこの土地を与えました。私たちは彼らからそれを取り去りました。それは私たちがそれらを扱う方法の旗の汚れだと思えます。そうです。向こうの日本とそのすべての場所にお金を送って、このように私たちにそれを吹き返します。そして、私たちのインディアンがここにレイアウトして飢えて死ぬ...それは正しくありません。確かに、それは正しくありません。

52 そして、私は見ました、そしてかわいそうな小さな仲間。私は彼を肩に乗せた。私は言いました、「主よ、これらの人々に好意を見いださせてください。小さな仲間の目をまっすぐにしてください。」

私はこのように見ていました。私はビジョンが私の前に来るのを見ました、彼の小さな目は同じようにまっすぐでした。私は「今...」と言いました。彼は私の肩に頭を抱えていました。私は彼を撫でていました。私は「今、あなた方全員に(何百人もがいたところに座っている)」と言いました。「今、この赤ちゃんの目がまっすぐでなければ、私は偽の預言者です。ほら。彼らがまっすぐなら、私はあなたにイエス・キリストを代表しました。私は政府があなたに何をするかを助けることはできません。」しかし、私は言いました、「私はイエスがあなたを正しく扱うことを知っています。これで、これが正しいかがわかります。」私は彼の小さな頭を回した。あなたは祈りのラインについて話します! 今持っていました! 何と、スタンピードがありました。

53 そして次に来るのはインディアンの老婆でした、そして彼女は...彼女が次に来ることになっていて、ああ、あなたはただ持っていました...あなたは彼らを打ち負かすことができませんでした。そして、インドの老婆が出てきました。彼女はここで腕の下に持っていたものの周りに商品を巻いた2本のほうきを持っていて、彼女は出ようとしていました。そして、そこに小さなインド人の男の子が飛び上がって、彼は彼女の前に割り込もうとしていました。

そして、彼は英語を話せなかったので、私たちは彼を理解させることができませんでした。そして、ムーア兄弟(多くの方はジャック・ムーア兄弟を知っています)は、彼を脇に置いて、その上に詰め込みました。そして、私はその老婆に気づきました。彼女はそのように近づいてくる。彼らはその時信じていました。ああ、あなたは祈りのラインについて話します!

だから、それはあります、来て...そのように。私は彼女がこのようにこれらの2つのクラッチを動かすのを

見ました。そして、彼女はその足を取り、それを開始しました。その後、そのような他のものは、かろうじて動くことができました。彼女は80歳だったと思います。そして、彼女は私に近づいたときに私を見上げました。そして、彼らは彼女の頬に大きな大きな深い切り込みを入れました。私の母は混血ですが(あなたがそれを知っているかどうかはわかりません)、彼女は彼らにも大きな深い切り口を持っています。

そして、彼女がそのように上がってきたとき、私は見ました、そして、涙は彼らを通して少し青ざめたように見える目を切り落としました。「誰かのお母さん」と思いました。そして、彼女はちょうどそのように私を見上げました。そして、私は...彼女のために祈る前に、「神よ、あの小さなあごがそのように揺れているのを見てください、少し古いもの」と思いました。彼女は私を見ました。彼女は笑い始めた。彼女はクラッチを1つ手に入れてそこに置き、それを私に渡して、プラットホームから歩いて行きました。ただ信じるために、単純な信仰を見てください。

54 私はすべての人のために祈ろうとしました、しかし、ああ、私の、それはほぼ一緒でした...私はその時識別を止めなければなりませんでした。ですから、朝の3時か4時頃、彼らは濡れた状態でやって来て、このようにふっくらと立ち上がっていました。そして私は「彼らはどうしたの?」と言いました。

「まあ、彼らは最初にあなたが間違っていると思った」と言った。彼女は言いました。「今、彼らは砂漠に出かけて、愛する人を連れてきています。彼らはフィヨルドに行くつもりはありません。彼らはちょうどそのように彼らと一緒に川を渡って歩いているだけです。」

それで、ここに白髪の老人が来ます。彼はボードにいて、2本の棒を持っていました。そして、彼は足を2本の棒に、腕を2本の棒に横たえ、麻痺でこのように震えていました。

そして、そこには大きな大きな仲間が立っていて、ハンサムに見える大きな大きなインディアンがいて、彼の唇はできるだけ青くて濡れていました。そして私は、「肺炎になるのを恐れていませんか?」と言いました。

彼は「いいえ」と言いました。

私は「あなたは英語を話しますか?」と言いました。

「少し」と言いました。

私は「肺炎になるのが怖くないですか?」と言いました。

「いいえ。」「イエス・キリストが私の面倒を見てくれました。お父さんを連れてきました。」

私は「あの兄弟?」と言いました。

「うん。」

私は「彼のために祈れば、彼は元気になると思いませんか?」と言いました。

「うん。」

「彼は英語を話しますか?」

「いいえ。」

私は「彼が通って行く」と言いました。

55 彼らは彼をそばに置いた。私は彼に手を置いた、彼の古い頭はそのように揺れていた。私は言いました、「父よ、彼はこれらの少年たちのために何日も懸命に働きました。彼らは今彼を称え、今朝の川を渡って祈るために彼を連れてきました。あなたが彼を癒してくれることを祈ります。」私は言いました「彼を家に連れて帰りなさい 次のものを持ってきてください。」

あなたが最初に知っていることは、私は皆が叫び、叫んでいるのを聞いた。見た。その老人は自分の肩に板を持っていて、そのようにみんなに手を振っていました。それがそれです。神を信じるのは単純な信仰です。それはいくつかの趣味ではありません。それはただ子供のような信仰です。ほら、私たちはそれを説明しようとしてそれから急降下しました。ただ信じてください。

56 そうです。それが主の軍勢のこの偉大な力強い船長のやり方です。彼はその夜、彼がそこにいたのと同じようにそこにいました。そして、あなたはそれについて別の何かがあることを知っています。イエスがいる場所では、いつもたくさんの音が聞こえます。理由はわかりませんが、そうです。イエスを見つければどこでも、たくさんの騒ぎを見つけます。

[空白のスポット]押し込んで叫び、そのうちの何人かは「ホサナ！ ホサナ、ガリラヤの預言者に！」

他の人は言います、「詐欺師と離れて。彼をこの街から連れ出してください。ここで彼を望んでいません。」熟れすぎた果物を彼に投げ、おそらく同じように卵を投げる人もいます。

そして彼は、「誰が通り過ぎるのか？」と言いました。バルティマイは言った。「誰が通り過ぎるの？」そして彼らは彼の上に群がり、彼を押し戻しました。そして多分しばらくして彼らは彼を押し倒した。彼は腰を下ろし、再び自分の岩を感じました。人々...彼は誰かが彼のためだと言うのを聞くでしょう。一人は彼に反対しました。今日と同じように：彼のためのものもあります。彼に反対する者もいます。

彼は聞いたその司祭が入るのを直接聞いた。「ねえ、あなた、預言者。あなた、あなたがラザロという名の死んだ男を蘇らせたと言った人。ここには墓地全体がそれらでいっぱいになっています。あなたが上がって1つ上げるのを見てみましょう。私たちはあなたを信じます。あなたがそれをするまで、あなたは偽の預言者です。」

彼は言いました、「それは同じ人が彼がそれを止めるために降りるつもりであると私に言ったということです。これはどういうことですか？」ほら。

57 そして彼は言います、「誰かが私に言った！ 誰かが私を助けてくれます！ 誰かが私を助けてくれます、なぜなら……誰が通りかかっているのですか？ このすべてのノイズは何についてですか？」

誰も彼の言うことを聞かないでしょう、そしてしばらくすると……それは若い女性だったに違いありません。彼女はかわいそうな老人がそこに横たわっているのを見て、彼を迎えに行きました。彼女は言いました、「先生、あなたは怪我をしていますか？」

「いいえ。」言った、「私はあなたが私に言ってくれたらいいのに。騒がしいのは何ですか？」

「ああ」と彼女は言いました、「ナザレのイエスは通り過ぎます。」

「なぜ、ナザレのイエスは誰ですか？」

「あなたはイスラエル人ではありませんか？」

「はい。」

「そうですね、私はナザレのイエスの僕です。」あなたはナザレの僕のイエスについて何かがあることを知っています：彼らは困っている人をいつでも喜んで助けてくれます。彼らは常に立ち止まり、困っている人を助けてくれます。神の僕たちはそれをします。彼女は言いました、「私はナザレのイエスを信じています。さて、ご存知のように、このナザレのイエスはダビデの息子です。」

「ダビデの息子？ なぜか、覚えています。私はただここに座って考えていました。母はダビデの息子がいつか来ると私に言いました。」

「はい、それはガリラヤの預言者である彼です。」

「預言者？」

58 「はい。」「あなたはここの町で彼らがビジネスマンのザツケウスと呼んでいるその男を覚えていますか？」と言いました。

「はい、私は彼をととてもよく覚えています。ええと、彼は前に私にコインをくれました。」

「さて、今朝……あなたは彼の妻、レベカを知っていますか？」

「はい、私はレベカを覚えています。」

「まあ、リベカは祈っています。イエスが町に来ることを知っていたのに、なぜ、彼女は夫がイエスを救い主として受け入れるように祈っていたのです。」

「はい、どうぞ、話しかけてください。」

「さて、今朝、ザツケウスは彼に会いに出かけていました、そして彼はイエスに彼に会いたくありませんでした。それで彼はハレルヤ通りの角に駆け下り、そこで栄光の道をここで曲がりました、そして彼はゴミ箱を手に入れてそれを置き、シカモアの木に登り、そして2本の手足が交差するところに座りました。」

「うーん」

「そして、レベカは彼に言いました、『今、あなたはユダヤ人です、そしてあなたは救世主が来るとき、彼が預言者になることを知っています。彼は神の預言者になるだろう』とモーセは言った、「あなたの神、主は私に似た預言者を立てるでしょう。」「しかし、あなたはザアカイを知っています、どうやって...

「まあ、彼はこの街のビジネスマンの一人です。彼はかなり重く傾いています....彼とラビは一緒にカード遊びをします、そして彼らは彼らを持っています....ご存知のように、物事はかなりうまくいっています。それで、ラビと彼ら全員は、彼が預言者ではなかったので、その人を信じないように言ったのです。」

59 そしてザアカイは彼がそうであるかどうかを見たかったのです。それで彼はこの木に登り、彼はすべての手足を手に入れました、そして彼はこのように彼の周りのすべてにそれらをドラッグしました—彼自身を偽装しました。そして、彼は大きなヤシの葉を1枚持っていたので、彼は栄光の道で彼がそこに降りたときに彼が来るのを見ることができました。

「そこで彼はこの木の中に座って、みんな腰を下ろしました、そして誰も彼がそこにいることを知りませんでした。そして彼は言った、「さて、私は彼が預言者であるかどうかを見ます。そして、私は彼の顔を見て、彼が預言者であるかどうかを知ります。私は預言者がどのように見えるべきかを知っています。」

そして、角を曲がったところにすべての弟子たちがやって来ます。そして、ここに大きな漁師がやって来てこう言います。私たちの主人はとても疲れています。私たちはこれをしなければならないことを残念に思います、しかしあなたはちょっと後ろに立って彼を通り抜けさせますか？彼は夕食のためにレビンスキーのところに行くので、あなたは...このレストランで、ほら、あなたは後ろに立つ必要があるでしょう。申し訳ありませんが、これを行う必要があります。[ここにレビンスキーがいないことを願っています。それで...とにかく、それはただのドラマだと言いました。]それで、通りかかって、「少しだけ後退して」と言います。そして、ここに他の人たちが来ます。

60 「彼は葉を上げて外を見ました。言った、「うーん。それらは何ですか？ああ、それは彼の弟子であるレベカが私に言ったはずです。ええと、ちょっと待ってます。」それからしばらくして、彼は再び葉を上げて言った、「さて、私がよく覆われているかどうか見てみましょう。ええ、私は2本の手足に座っています。」

それは2つの方法が出会う場所であり、多くの人々が座る場所です。あなたと神の方法が出会う場所です。そうです。そこから決断を下す必要があります。

「それで彼はこの手足に座っていました。そして彼は見ました、そしてしばらくして彼はある種の空いているスペースを見ました、そしてしばらくして彼は角を曲がったところに来て見ました。彼は葉をとても簡単に持ち上げて外を眺め、その角の下から覗きました。そして、あなたは何を知っていますか？彼は彼の顔を見ていた。

「そして彼が彼の顔を見るやいなや、彼は言いました。『その人には少し違うことがあります。私は彼の話し方と彼がどれほど思いやりがあったかを聞くことができます。彼は違っていた。しかし、ご存知のように、私は彼が預言者であったことを知らなければなりません。なぜなら、彼が預言者でなければ、彼は救世主ではないからです。モーセが私たちに救世主は預言者になると言ったからです。』

「だから私は今彼をだましている。私は彼をよく見ました。私は戻ってレベカに話します。あなたは私が良い考えを得たことを知っていますか？この木から飛び出して、本当に彼に私の心の一部を与えています。[あなたはその方法を知っています...]私は彼に奇跡のすべての日が過ぎ去ったと言うと信じています」とレビンスキーがそう言ったので、そしてそれらの残りすべて。ラビ・ジョーンズと彼ら全員がそう言ったのです、分かりますね。私はそれをするだろうと信じています。しかし、私はしっかりと覆われているので、じっと座っている方がいいです。」

61 「それで彼は歩きました…」と言いました、「そしてあなたの名前は何ですか？」

「私はバルティマイです。」

「まあ、バルティマイ、彼は木の真下に着くまで歩きました。そして、彼が木の下に着いたとき、彼は立ち止まり、見上げて言った、「ザアカイ、すぐに降りてきなさい。私は夕食のためにあなたと一緒にあなたの家に帰ります。」

「バルティマイ、それがダビデの息子だと信じられますか？」

「ああ、そうです。それが彼がすることになるでしょう。彼はどこにいますか？」

「彼は今、通りをずっと進んでいます。」

彼は飛び上がってコートを投げた。「ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください。私を憐れんでください。ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください。ええ、憐れんでください。」彼の最後のチャンス—彼は通りかかっている、通り過ぎていました、そして彼はそのかわいそうな盲目の老人をどのように聞くことができたのでしょうか？取るに足らない。

そして人々は言いました「座って そのように大声で叫ぶな。座ってください。彼は道を進んでいます。」

それからバルティマイが言ったのは、「彼こそが救世主です。私は彼がそうであることを知っています。もし彼がそこにいるなら、私が今彼を捕まえることができる唯一の方法は……救世主が来られるとき、彼は私たちにすべてのことを教えてくれることを知っています。私たちは彼が預言者になることを知っています。」それで彼はひざまずいて言ったに違いありません。「エホバなる神様、救世主なら、あなたの息子です。あなたが彼を止めてくださることを祈ります。ああ、彼に私を憐れんでください。」

そしてイエスは立ち止まりました。それは何でしたか？ 彼の声が彼を止めたのではなく、彼の信仰が彼を止めました。「あなたの信仰があなたを救った」ね。

62 見てください。世界のすべての重荷を背負って、彼は十字架につけられるためにエルサレムに向かっていました。彼はそれを知っていました。世界のすべての重荷と罪。これまでに犯された、またはこれから犯されるであろうすべての罪は、彼にかかっていた。

彼の心を考えてください。彼に投げられた卵や果物や物でさえ、「ここに来て、死者をよみがえらせてください。奇跡を見せてください。あなたが救世主であるなら、あなたがそうするのを見てみましょう。[エルサレムのミニスター協会のその集まり、あなたが見る...または、エリコの]を見てみましょう。あなたが何かをするのを見てみましょう。ほら、私はあなたに言った、それには何もありません。」

彼は悪魔を気にしません。彼はまだそうしていません、そうですね……父が彼に示したように彼はそうしていると彼は言いました。

63 しかし、その年老いた盲目の乞食は「ああ、ダビデの息子だ」と言っていたので、彼は立ち止まりました。兄弟、私はいつかあなたに「そして彼はやめた」と説教したいと思います。はい、先生。彼は立ち止まりました、そして彼がやったとき、彼は振り向いた。さて、彼の声…彼はもちろんそれを聞きませんでした。しかし、彼の信仰は彼を止めました。彼の信仰は彼を止めました。そして彼らは彼を連れてきました。彼は言った、「私があなたのために何をするだろうか？」

彼は言った、「主よ、私の視力を受け取るためです。」

彼は「あなたの信仰があなたを救った」と言いました。ほら、もし彼が彼を止めるのに十分な信仰を持っていたら、彼に触れる信仰を持っていたのです…。それが他の聖書と比べてどうなのか分かりませんか？ もし彼が彼を止めるのに十分な信仰を持っていたなら、まあ、彼は彼の癒しを受け入れるのに十分な信仰を持っていました。「あなたの信仰があなたを救いました。あなたの信仰がそれをしました。」そして彼は頭をエルサレムに向かって歩き続け(ああ、何と!)、エルサレムに向かって進みました。

盲目のバルティマイがそこに立って言っているのを見ることができます。「彼は私に言った…彼は私の信仰を私に言った。どんな信仰？ 彼が救世主であったと私が信じる信仰。どうして彼は私を聞いたのでしょうか？」

か、そして私はその壁に向かって200ヤードか300ヤード後ろに座っていたのでしょうか？そして、彼ら全員が叫び続け、人々は彼らのように行動しました、どのように...？なぜ、私は信じるのに十分な信仰を持っていたので、私は彼を止めました、そして彼は私に言いました...言ってください、私は私の手を見ることができません！」そして聖書は、彼が神に従い、神を喜んで賛美していると言っています。

一人の盲目の乞食の信仰がそのような使命で彼を止めました。今夜ここにいる一人の信仰が、彼を栄光からこの建物に連れて行くことができます。確かにそうなるでしょう。彼はあなたを癒すことができます。彼はあなたに救いを与えることができます。

64 私は盲目のバルティマエウスについての小さな話を読みました...閉じる前に。私の時間は終わりましたが、閉じる前にこれを言いたいので、祭壇に電話をします。さて、ちょっと気づいてください。私は物語を読みました。それはおそらくフィクションでした。多分そうだったのか、わかりません。しかし、私は盲目のバルティマエウスについて読んでいました、彼は幼い頃から盲目だったと言って、彼は盲目になりました。しかし、彼は結婚していて、彼には人生で見たことのない妻と小さな頭の悪い女の子がいました。

そしてある夜、彼は病気になったと言いました。そして彼らは、彼がそこに出るであろういくつかのカメの鳩を持っていたと話した、話はそうでした。彼らはお互いに少し転倒し、それは通行人の注意を引くでしょう。彼らは彼らが小さな鳩がお互いに小さな転倒をするのを見て、人々は立ち止まって少し笑い、そして彼にコインを渡しました。それは彼らがまだそれをしている方法です。

65 そして、彼の小さな女の子は病気になりました。彼らは医者連れて行きました、そして医者は「まあ」と言いました、「子供に高すぎる熱があります。私は子供が生きるつもりはないと思います、バルティマエウス。私たちはその熱を壊すものが何もないので、私は子供が生きるつもりはないと思います。」

そしてバルティマエウスはちょうど言いました...多分彼は彼の小さな日干し小屋の横に沿って出てそこに立っていました、そして彼は言いました、「エホバ、あなたが私の小さな女の子を癒し、彼女を死なせないなら、私は約束しますあなたは明日、あなたに私の2匹の小さなカメの鳩の犠牲を払わせませう。」ほら、あきらめなければならない何か。今日、人々はちょっとしたことをしたからといって考えています。いいえ、それは本当に痛いことです。何かを得るには道を掘らなければなりません。それは神が見ている種類です。「私はあなたに私の2匹の小さなカメの鳩をあげて、彼らなしで先に進みます。」

そして翌朝、熱はなくなったと言いました。彼は行って、2羽のカメの鳩を差し出しました。

66 しばらくして、彼の妻は本当に病気になったと言いました。それで医者が来て言いました、「なぜ、彼女は死ぬと信じています。バルティマエウス、彼女が元気になるとは思わない」としばらく待った後。そして言いました、「いいえ、私の薬は彼女を助けません。彼女は死ぬだろう。」それで彼は再び家の外に出ました。

そして、あなたは今日人々を導くこれらの犬を知っていますか？彼らが何と呼んでいるのか忘れてしまいました。シーイングアيدッグ。彼らがリードします。しかし、彼らの時代には、彼らを導く子羊がいました。そして、バルティマエウスは目の見える子羊を飼っていました。それで彼は言いました、「主よ、もしあなたが私の妻を癒し、私の大切な仲間を死なせないなら、まあ、私はあなたに約束します、明日私はあなたに私の子羊をあげます。」そして翌日、彼の妻は良くなりました。

それで彼は子羊をささげるために上がっていきました。そして司祭は言った、「盲目のバルティマエウス、どこに行くの？」

彼は言いました、「私は自分の子羊をエホバにささげるために犠牲を払うつもりです。彼が私の妻を癒したので、私は彼に私の子羊を与えると彼に約束しました。」

彼は言った、「ああ、バルティマエウス、あなたはその子羊を提供することはできません。」「私はあなたにいくらかのお金をあげます、そしてあなたはあなたに子羊を買いに行き、そしてその子羊を提供します。法廷の交換所でそれを購入してください。」

67 彼は言いました、「ああ、司祭、それはあなたにとって良いことです。しかし、私は神に子羊を約束したことはありません。私は彼にこの子羊を約束しました。[「私は他の誰かを連れてきます、私は善行をします」しかし、あなた自身はどうですか？]私は神にこの子羊を約束しました。[「私は神が彼の存在を私に示すだけであるならば、私は心から神を信じると約束しました。ジョーンズ嬢は彼を信じませんでした、私は心から彼を信じます。」「そうです、分かります。]私は彼に子羊ではなくこの子羊を約束しました。」

彼は言いました、「バルティマイ、あなたはその子羊を与えることはできません。その子羊はあなたの目です。」

彼は言った、「もし私がエホバとの約束を守るなら、神は盲目のバルティマイの目のために子羊を与えてくださいます。」

この涼しい春の朝、神は盲目のバルティマイの目に子羊を与えられました。「ダビデの子よ、私を憐れんでください。」

68 その同じ子羊がすべての罪人、すべての病人に提供されます。神は私たちの霊的な目と肉体的な目に子羊を与えてくださいました。私たちの体調のために、私たちの精神状態のために。彼はすでに私たちの盲目に子羊を与えてくださったエホバ・ジレ(アドナイエレ)です。私たちが...世界を見て、もうそれを見ることなく、彼に目を向けるように。病気になっているので、彼が昨日も今日もそして永遠に同じであることがわかるかもしれません。祈りのために少し頭を下げましょう。

ここに罪人が言いたいことがありますか?「ブランナム兄弟、私を覚えておいてください。私は叫びます、『ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください。私を憐れんでください。霊的な光景を受け取りたいです。私はあなたが真の神の御子であるようにあなたを見たいのです。ダビデの子よ、私を憐れんでください。』」? あなたは彼に手を挙げますか? 神はあなたを祝福します。神はあなたを祝福します。神はあなたを祝福します。バルコニーで手を挙げて、「神の子羊よ、ダビデの子よ、彼に会いたい」と言ってください。神はあなたを祝福します、私の兄弟、バルコニーに戻ってください。

69 他の誰か、若い人たちの何人か? 彼が若い頃の小さなバルティマイについての私の小さな話を聞いてください。ご存知のように、あなたが生まれたとき、あなたの母親もおそらくあなたを神に捧げました。ほら、バルティマイは、彼のママが彼を捧げたときに神が彼のために定めた任務をついに果たしました。今夜、あなたの小さな目が開かれるかもしれません、若い人たち、そしてあなたは神の小羊を見るでしょう。「ダビデの子よ、私を憐れんでください。」

他の誰か、手を挙げていただけませんか?「ダビデの子よ、私を憐れんでください。」神はこの少女を祝福します。神はこの若い女性を祝福します。神はここに座っているこの女性を祝福します。神はここでこの小さな男の子を祝福します。「ダビデの子よ、私を憐れんでください。」この男、はい、神はあなたを祝福します。私の右側に誰か他の人がいます。「ダビデの子よ、憐れんでください。」

あなたの信仰は彼に触れることができます、バルティマイがしたのと同じように彼をここに連れて来ててください。彼は誰にもいません…。もしあなたがバルティマイと同じ信仰を持っているなら、彼は立ち止まって天国を去り、今夜この神の集会の教会に来てあなたに憐れみを示します。「ダビデの子よ、私を憐れんでください。」

建物のどこかに、手を挙げていない別の人がいるのでしょうか?「ダビデの子であるあなた」と彼らを憐れんで欲しいと彼らが手を挙げたのは約10、12人でした。

70 昨夜、ここに小さな女の子が座っているのに気づきました。約10歳のように。彼女は少し前に手を挙げた。彼女はイエスが欲しかった。私の小さなベツキーの年齢について、私は家にいると思います—私の小さなレベカ。そして、私は彼女が祭壇に立っていたとき、少女が昨夜現れるのに気づきました。彼女はそこに立っていた以上に、舌で話し始めました。誰かが私に、何人かの兄弟たちに、彼女は教会中を走り回っていて、異言で話し、異言やその他すべてで歌っていると言いました。主がその小さな子供をどのように祝福したか。

彼女が古い実話の雑誌と世界の汚物を通してそれを引っ張る前に、彼女の心が若くて柔らかいときに彼女を手に入れてください、彼女の小さな心はすべて冷淡になりました。私は小さな子供たちが来るのを見るのが好きです。神...あなたは自分の人生を神に捧げます。彼もあなたのために何かをするでしょう、ハニー。彼は確かにそうするでしょう。

私たちが祈る前に誰か他の人がいますか?「ダビデの子、主よ、私を憐れんでください。」

71 我らの天のお父様、私は彼らをあなたに与えます。彼らは手を挙げた。彼らはイエス・キリストへの信仰によってあなたの子供です。彼らはあなたがここにいることを知っています、父よ。彼らはあなたが神の子であることを知っています。彼らは今、あなたが彼らの心にあなたを救い主として受け入れる準備ができている

と話したので、あなたが最初に話さなければならなかったのに、信じています。

「私の父が最初に彼を引き寄せない限り、だれも私のところに来ることはできません」と主イエスは言いました。そして、父が私に与えてくださったすべてのものが来るでしょう。」そして今、主よ、彼らは主イエスの流された血に基づいて今夜来ます。そして、彼らの司祭、または牧師、またはしもべとして、私は父よ、祈ります。私の信仰の祈りはあなたに行きます。

そして、彼らが救われたことを彼らに知らせるために、私はあなたにあなたの言葉を引用しています。あなたは「私の言葉を聞いた彼は……」と言いました。私は過去1時間以上それを絶えず引用しています。「わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした者を信じる者は、永遠の命を持ち、決して裁きを受けることはないが、すでに死から命へと移っている。」

父よ、それはあなたが言ったことです。彼らはそれを信じて手を挙げた。そして彼らはそれを信じました、彼らはそれを受け取りました。だから今、私はあなたが彼らに永遠の命を与えたことを知っています、そしてあなたは最後の日に彼らを再びよみがえらせるでしょう。

あなたはそれをするだろうと言いました。あなたはそれをするを約束しました、そしてあなたは神であり、あなたはすべての約束を守ります。あなたの約束は「うん」と「アーメン」なので、約束に戻ることはできません。あなたはそれをするだろうと言いました、そしてあなたはそれをするを約束しました。

72 さて、父よ、私はあなたが彼らに彼らの近くにいたその霊が「子よ、あなたは間違っている。あなたは今夜私を受け取るべきです。私は忙しいスケジュールの中で立ち止まり、振り返ってこう言います。『あなたの罪はあなたに許されています。行って罪を犯さないでください。』あなたが何度も言ったように、あなたは彼らが彼らの決定をしたので、今夜彼らにそれを言いました。

さて、父なる神様、私はあなたが彼らのうちの一人を許さないように祈ります…。私は彼らが手を上げるということだけのために彼らの手を上げたとは思いません。彼らは誠実だったと思います。彼らは本当にそれを意味しました。そして今、私は彼らをあなたに託し、あなたが彼らのすべての罪を赦してくださるようお願いいたします。私は心から彼らのために介入しています。あなたが彼らの罪を赦してくださるように。ここにすべての罪人、あなたが彼らのすべての罪を赦してくださるように。

73 父よ、この小さなグループ、私たちが集まるその携挙の素晴らしい日にそこで彼らに会いたいです。彼らが国から国へと走り、集まってくるのを見てください。「生きていて残っている私たちは、眠っている彼らを妨げてはならない。」ラッパが鳴り、最初に死者がよみがえり、それから私たちは彼らに会い、そして彼らと一緒に捕まって空中で主に会い、永遠に主と一緒にいるでしょう。主よ、私はあなたがテサロニケ人への手紙の第5章でそれを言ったことを知っています、そして私はそれが真実であることを知っています。そして、私たちはあなたに会う前に彼らに会います。だから私たちはこれにとっても満足しています。

74 そして、私たちは今、彼らが手を挙げたので、そして私が知っている最善の方法で御霊の導きに祈り、尋ね、従ったので、彼らが彼らの罪を赦されていると信じています。今、彼らはそれに満足しています、主よ。さて、あなたが彼らにやるように頼んだことがもう一つあります。「人の前で私を告白する者、父と聖なる天使たちの前で私が告白する者。」

これは彼らが決して忘れない夜になるでしょう。これらの若い人々は、小さなバルティマイが母親の話聞いたことを思い出し、いつか神が彼を使用したことを知っています。そして、これはあなたがそれらを使用し、それらを使用し、あなたの王国に連れて行く時間です。

手を挙げた年配の人たちは、おそらく後にバルティマイのように盲目でしたが、彼の視力、彼の霊的な視力を受けました。さて、父よ、私はあなたが彼らを今夜あなたの子供にさせ、いくつかの良い教会に加わり、クリスチャンのバプテスマによってバプテスマを受け、聖霊を受けるように祈ります。主よ、それを叶えてください。

75 今、あなたの頭を下げ、私は見て尋ねるつもりです：あなたが私を神の預言者(またはむしろ彼の僕)であると信じるなら、あなたが私が心から彼の僕であると信じるなら、深く誠実であったあなた、そして、あなたは私があなたに真実を引用したと信じています。あなたはその言葉を聞いたのです。ヨハネによる福音書5:24]そして私を遣わした彼を信じなさい。」私はみことばを説教しました。あなたは神を信じました。そして、あなたは自分が罪人であり、もはや罪人になりたくないと手を挙げました。

それから神は、「私の父が彼を引き寄せない限り、だれも私に来ることはできない」と言われました。では、何があなたの手を引き上げたのですか？ 神様。あなたはあなたの決断をしました。大丈夫です。さて、彼は何と言いましたか？「私に来る彼は、賢明に追い出されることはありません。」あなたが本当にそれを意味するなら、あなたはクリスチャンです。あなたは若い男の子と女の子、そしてあなたの中年の年長者、そしてあなたの十代の若者たち、あなたがそれを信じる時、あなたはクリスチャンです。

76 さて、まだあなたがしなければならないことが一つあります。あなたが本当にそれを心から信じているなら、私はあなたにただあなたの足で立って、これを言うように頼むつもりです...立ち上がって...あなたは一言も言う必要はありませんが、ただ立ってください「私は今、すべての罪を告白し、イエス・キリストを私の救い主として受け入れます」と人々に証言するかもしれません。今、そのように彼を受け入れるあなたは、あなたの足元に立ちなさい。

ここに座っていた少女はどうですか？ 彼があなたの救い主だと思いますか？ そうです。すぐそこに立って、ハニー。この小さな男の子。大丈夫です。後ろにいるあなた、バルコニーにいるあなた、バルコニーにいる小さな男の子と女の子、元気です。イエスをあなたの救い主として受け入れた建物のどこにでも立ち上がってください。「人の前でわたしを証する者、人の前でわたしを証する者、父の前で証する者」

今、あなたの何人かの年配の人々があなたの手を挙げています。これが1、2、3、4です。今夜のバルティマエウスの小さな話に立っている4人の子供たちを見えています。さて、手を挙げた年配の方はどうですか？ 彼らの小さな心がどのように優しいか分かりますか？ 彼らは信じて立ち上がるので、彼を受け入れるために立ち上がるのです。彼らは許されていると思いますか？ 確かにそうです。確かにそうです。

77 さて、彼を受け入れて「私は公に証人にします」と言いたい残りのあなた方の何人か。

聖書は、信じられている限り多くの人が教会に加えられたと言っています。今夜、イエスがあなたの罪を赦してくださいと信じていますか？ これらの子供たちと一緒に立ち上がってください。今何人がそれをしますか？ 大丈夫です。神はあなたを祝福します。車椅子の男の子、このこの男の子、このこの女の子、この女性。それは良いことです。結構です。他の誰かが「私は今彼を受け入れます」と言いますか？

今、何の感覚もありません。「私は感情を探していません。彼が私に約束したので、私は探しています。「私の言葉を聞き、私を送った彼を信じる彼は永遠の命を持っており、裁きに来ることはないが、死から命へと移った」。あなたの告白された罪のそれらの根拠に基づいて、そしてあなたが罪人であることを認識し、そして彼をあなたの救い主として受け入れ、立ち上がるでしょう。1、2、3、4、5、6。

もう一人おられますか？ あなたが座る前にもう一人私が祈る事ゴア出来る他の方がおられますか？ ホールにはいますか？ 神はあなたを祝福します、ご婦人。それは素晴らしいことです。大丈夫、他にいらっしゃいますか？ 神はあなたを祝福します、姉妹。大丈夫、他にもいらっしゃいますか？ 7人おられます。それは完璧な数字です。さあ、頭を下げましょう。ただ立ったままです。

78 我らの天のお父様、あなたの言葉が破れることはありません。それは永遠です。あなたは、「わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした者を信じる者には、永遠の命がある」と言われました。主よ、あなたはそう言いました。そして...彼らは主イエス・キリストを信じたので、...裁きや裁きで非難されることはありませんが、死から生へと移りました。彼が彼らの代わりに彼らの罪を取って死んだこと。そして彼らの不義に対して、彼らはイエス・キリストを通して神の義とされます。

父よ、彼らはそこにいます。それらはメッセージのトロフィーです。彼らはここにいます。彼らはあなたの子供です。今、私はこの地球で彼らの握手をすることが決してできないかもしれません。しかし、父なる神様、私はあなたの言葉に基づいて、あなたは神であり、嘘をつくことはできず、あなたの言葉は永遠であると信じ、受け入れます。私は彼らを福音のために主張します。私は彼らがイエス・キリストを通して神のために、彼らのすべての罪を赦したと主張します。

そして、父よ、あなたがこれらの子供たちを永遠の命に導くように祈りましょう。彼らを聖霊のバプテスマに導きます。父よ、彼らにイエス・キリストの体の霊と力でバプテスマを授けてください。そうすれば、彼らはあなたが神の子であることを自分の目で見ることが出来ます。彼らは今それを信仰によって信じて受け入れました、そしてそれらに基づいてあなたは彼らが救われたと言いました。私は彼らのために祈り、イエス・キリストの名によって彼らをあなたの手に乗ねます。

79 さて、立っている人(頭を上げている人)を見て、立っている人は座っているときに握手をしてほしいで

す。バルコニーの上の方、彼らはここにいます。あなたが座っている今、あなた方クリスチャンは彼らの近くにいます。彼らの手を振って、「神があなたを祝福します」と言ってください。

ここでこの小さな男の子の手を振ってください。神はそこで彼の小さな心を祝福します。そこに座っているお母さんの何人か、ここ、そうです。神はあなたを祝福します。兄弟よ、神はそこに足を骨折してあなたを祝福します。心配しないでください、あなたは大丈夫でしょう。数日前にそれを知っていたので、心配しないでください。大丈夫です。バルコニーのあそこまで、大丈夫です。大丈夫です。ああ、彼は素晴らしいではありませんか？「ダビデの子イエス様、私を憐れんでください。」

「ブラナム兄弟、それが真実だと信じますか？」と言います。まあ、確かに私はそれが真実であると信じています。私はここに立って、信じられないことを説教しませんでした。私は自分が信じていることを説教することでいつも困っています。それがそれです。しかし、神がそう言われたので、私はそれを信じています、そしてそれは私にそれを解決します。私は、それらの人々、その小さな女の子と小さな男の子、そしてここにいるこれらの人々は、盲目のバルティマイが道で彼を止めたのと同じように栄光から彼を呼んだと信じています。あなたはそれを信じますか？

80 何人が病気ですか？手を挙げてください。病気で苦しんでいる方。アーメン。その同じ神を信じている人はどれくらいいますか...？大丈夫です。その時何かが私を襲った。彼はここにいます。あなたがその写真で見る主の天使、神は私の裁判官です—あなたが見つかる裁きの日に—彼は今ここにいます。そうです。主の天使がここにいます。誰か、どこか、どこかが苦しんでいます。彼らは信仰を持っています。何かが動いた。誰かがどこかで何かをしたか、何かをしました。彼はそのようには来なかったでしょう、そして私はこれを福音の礼拝に留めようと思いました。

祈りのカードはありますか？あなたはしません。まあ、あなたはそれらを必要としません。あなたはそれらを必要としません。あなたには信仰があり、信じています。私が言ったなら...あなたは若い人がここで回心し、彼がここにいるのです...ああ、友達よ、彼があなたを襲ったときの気持ちは決してわかりません。あなたはその時あなたが話していることを知っています。そうです。はい、あなたはあなたが話していることを知っています。ああ、私はできる限り前向きです。あなたは今信仰を持っています。ただ信じなさい。

81 サラはテントに座って言いました…。彼女は自分の中で笑いました、そして天使は振り向いて言いました、「なぜサラは自分の中でこれはそうではないだろうと言って笑ったのですか？」そうですか？彼の衣服に触れて彼が見た女性はどうか？彼が今夜同じ大祭司だと信じませんか？あなたは若い改宗者です、私はあなたが触れたものであることをあなたに証明したいと思います...ここに蜂蜜姉妹、あなたとここに座っている姉妹、そして兄弟、小さな男の子、そしてあそこに座っているその小さな男の子と女の子—私約束をしたのは主イエスと同じであることを示したいのです。ああ、私の。ああ、いつもこのように感じられたらいいのと思います。神を信じなさい。皆さん、祈ってください。ただ祈りの中にいてください。

82 私はあなたに背を向けるつもりです。その主の天使がしたこと、私たちがソドムの時代にいることをあなたに示し、私たちが最後の日にいることをあなたに示すために。この国は現代のソドムであること。主の天使がまだ主の天使であることをあなたに示すために。今、あなたはプレイヤーカードを持っていないので、私たちは祈りの列を持っていません。しかし、あなたはプレイヤーカードを持っている必要はありません。私があなたにお願いする唯一のことは、私があなたに真実、福音の真実を言ったと信じることです、そしてそれは神です。

さて、ここに戻ってこれらの牧師たちを見てください。兄弟たち、これを信じますか？心から？私が説教してきた福音が真実だと思いますか？神はあなたの心を祝福します。私の後ろにはひどい良い気持ちがあります、あなた方の兄弟たちの信仰。今週は何度も切り刻んだり切ったりしました。私はあなたを傷つけたとは思わない。愛しています。あなたは私の兄弟です。しかし、あなた自身は教会が去っていくことを知っています。私たちはそれを取り戻す必要があります。私たちはそれを持ってくる必要があります。

83 さて、ここにいます。私の前に女性がいます。私は彼女を見ています。そこにいる誰かが大祭司に触れています。彼女がここでどのように見えるかがわかります。ちょっと待って。女性が私たちの主イエスに触れたのと同じように、誰かが彼に触れました。それがこの女性がしたことであり、私は彼の代わりに行動しているだけです。わかりますか？今それはそうなるでしょう...私はすぐにそれをキャッチします。それは...から来ています。今、誰かが彼に触れました。あなた方一人一人が祈っています。今、心から信じてください。本当に静かに座って、信じてください。

はい。あそこの隅に座っている女性です。はい、そうです。あなたは祈りの車を持っています...? いいえ、あなたがプレイヤーカードを持っていないことを知っています。私はあなたを知りません。神はあなたを知っています。ほら、みなさんはこのように見えます。あの光がその女性にかかっているのが見えませんか? その小さな...彼女の真上を見てください。彼女の真上に神秘的な光がぶら下がっているのが分かりますか? 今見てください、それは開いています。その女性はある種の医者によって診察されました、そして、彼らは彼女が成長したと彼女に言いました。ある種の...彼女は手術を保留していますが、手術を受けることはありません。彼女は自分の癒しを主に信頼しようとしています。もしそうなら、手を挙げてください、ご婦人。

84 さて、あなたは若い改宗者です...そこに彼女のすぐ隣に座っているその女性、彼女はそうであるように見えました...その光は彼女のすぐそばに座っているその女性のすぐ上に移動しました。再びあります。私はそれが女性に戻ったと思ったが、それはその女性に行きました。彼女は信者であり、クリスチャンの信者です。彼女はある種の...アレルギーのようなものを手に持っています。そうです。

私はあなたを知りません、ご婦人? もちろん、あなたはプレイヤーカードを持っていません。よくなると思いませんか? それが神だと思いませんか? 私があなたが何について祈っていたのかをあなたに話すことができるとあなたは信じますか? あなたはそれを信じますか? ...神によって。(静かにして、静かにして、座ってください。)信じますか? ボスラー夫人、あなたは今あなたがよくなると信じていますか? 神はあなたを祝福します。それがあなたですよ?

85 ここに座っている小さな子、あなたはどうですか? ここにあります。信じますか? 肩をすくめているようです。そうです。しかし、それ以外に何か問題があります。神があなたの何が悪いのか教えてくれるなら、あなたは私が彼の預言者、彼の僕であると信じますか? それはあなたが苦しんでいる胃の問題です。それは、「こうして主は言われる」ということです。そうです。潰瘍ではありません。あなたはただ緊張していて、あなたの胃の中で動揺していることがそれをしているのです。まさにその通りです。心から信じるなら……

86 信じますか? 今、本当に敬虔になりなさい。動かないでください。ほら、あなたが動くたびにそれは何かをします。敬虔になりなさい。ここでこの方向の誰かはどうですか? ここに来ました、今ここに行きます。信じますか? (私たちが3つか4つ得たら、何か言ってください。)信仰を持ってください。疑わないでください。私はどこでも見なければなりません...私はこれまたはそれを言うことができればいいのにと思っています。できません。私はただ見なければなりません。信仰は人々に対してとても無意識です。

そこに座って私を見ているお嬢さん。いいえ、あなたのすぐ後ろにいます、姉妹、はい。目が問題になりました。そうです。彼があなたを癒してくれると信じますか? そうしないと、視力を失います。常に暗くなってきています。あなたは心から信じているだけです。あなたは神があなたが誰であるかを私に言うことができると信じますか? あなたは私があなたを知らないことを知っています。ジョンソン夫人、あなたは家に帰って元気になることができます。

87 彼女のすぐ隣に座っている女性。あなたは数分前に起きて立ち去らなければなりませんでした。サタンはあなたをこれから奪うために最善を尽くした。あなたは神があなたの問題について私に話すことができると信じますか? 私を彼の預言者、または彼の僕として受け入れますか? あなたはそれを心から信じますか? 私はあなたを知りません。私は私の人生であなたに会ったことはありませんが、あなたは今本当に神と接触しています。そうです。あなたは非常に重病です。そうです。胆嚢の状態です。そうです。もう一つ、あなたは心が大きくなった。その通りです。ミラー夫人、もしそうなら手を挙げてください。癒しを受けに行きなさい。イエス・キリストはあなたを元気にします。

88 私はあなたにそれを信じるように挑戦します。私はあなたにそれを信じるようにお願いします。大丈夫です。神を信じなさい。あなたは彼を信じますか? 「ダビデの子イエス様、私を憐れんでください。」あなたは彼を心から信じますか? それから私を聞いて、聞いてください。

ここには何人の信者がいますか?手を挙げてください。大丈夫、あなたが信者なら、今あなたの手を下に置いてください。あなた方一人一人が信者です。何人が病気ですか?手を挙げてください。大丈夫、信者たち、お互いに手を置いてください。同じ言葉を引用します。「これらのしるしは信じる者に従うものとする。」これです。信じますか?

今、あなたは誰かのために祈ります。あなたはあなたの周りにいる誰かに手を置きます。そのバルコニーに。はい、信じてください。あの女性はその真ん中に座って、その神経質な状態に苦しんでいました。

大丈夫です。それだけです、姉妹。私はあなたを知りません、私の人生であなたに会ったことはありません。そうですか？あなたは緊張します、何年もの間持っています。キリストはあなたを癒し、あなたを元気にします。そのバルコニーにあります。アーメン。あなたがそれを信じるなら、彼はあなた方一人一人を癒します。今、お互いのために祈ってください。お互いに手を置いてください。

89 天のお父様、この人々の信仰は、聖霊の形で主イエス・キリストを今夜彼らの真っ只中に戻し、失われた人々を救い、病人を癒しました。主よ、彼らは信者です。彼らはお互いに手を取り合った。彼らはあなたが昨日も今日も永遠に同じであり、同じ神であると信じています。

「ダビデの子、イエスよ」彼らは叫んでいます。イエスを墓からよみがえらせた力が、神の栄光を叫び、賛美し、証から彼らを立ち上がらせますように。彼らがバルティマイのように立ち、神の力が彼らを癒したのを見るまで彼らの手を見てくださいますように。主よ、それを叶えてください。

90 祈り続けなさい、祈り続けなさい、ただ祈り続けなさい。主よ、自発的な癒しの奉仕を続けることができるのは一つだけです...そしてそれは不信仰でしょう。主よ、私がここを見渡すと、群衆の周りに気づきました。周りを回っている輝かしい光を抑えようとしている小さな暗闇の筋が、誰かに触れるためにその暗闇の中を下って行く道を見つけようとしているのを見てください。父なる神よ、私に力を与え、信仰を与えてください。主よ、私が彼らに真実を語っていることをあなたが証明したことを人々が理解してくださいますように。

あなたが地上にいたとき、あなたは「父のわざをしなければ、信じなくても良い」と言われました。もし私が救い主の業をしなければ、彼らが私を信じないようになりますように。しかし、主よ、あなたはあなたがこの地上にいたときと同じ働きをしています。お父様、私は彼らが一部を信じるようになりましたように。主よ、その暗闇を彼らの上から打ち破り、神の力と光がここにいるすべての魂に降りかかり、彼ら全員を癒す信仰を私に与えてください。

サタン、あなたは暴露されている。つまり、お前は悪魔であり、この人々のグループを拘束しようとしている。私はイエス・キリストの名においてお前に挑戦する、彼らから出て来て、彼らを放っておけ。



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7